

路をよく修復すべし。肥料を準備す。

○下旬

下種

下種——煙草・蔘・藍・甘藍・花椰菜・夏葱種々の草花類を苗床に蒔く。普通温床に茄子・蕃茄・蕃椒・胡瓜・西瓜・南瓜等を下種す。甘藷を床伏す。馬鈴薯・牛蒡・チーゼル・夏菜・夏大根・二十日大根・禾本科の牧草・漆・栗等を下種す。酸漿を根蒔す。櫻欄は芽出蒔とする方よし。

移植

移植——葱を假植す。菊を植う。樹苗の床替を行ふ。樺・檜等の落葉樹木を植出す。

接木及挿

接木——桃・梨・苹果・櫻・李・栗等を殺接す。桑・無花果・葡萄・李・梨・桃等を挿木す。

手入

手入——玉葱及び百合を施肥中耕す。土當歸に培土す。豌豆

收穫

に支柱を立つ。根刈桑の結束を解きて施肥す。空地は速かに耕し、又苗地を整ふべし。

收穫——苜蓿・頭菜・夏橙・金柑並に促成したる山椒・薑等を收納す。

除病蟲害防

病蟲害防除——果樹・桐・桑等の介殼蟲には此頃四五倍の石油乳劑を塗るべし。果樹類に病害多き所にては開花前に一回二斗式のボルドー液を撒布すべし。

雑事

雑事——蠶卵紙を取出す。家禽の雛を育つるによし。道路水路を修復す。肥料を準備す。製茶の準備に取かゝるべし。

○當地方の北部沿岸地方にては鱈は本月より十二月迄、石花菜は七月頃迄採りてよし。内海沿岸にては鱈は終年漁獲あり。

四月

行事の大

苗代の整地・春蠶の催青等の外に下旬に入れば大抵結霜も止み、草木發動の候となるが故に、從て下種栽植すべき作物一層多し。何れもその選種を忘るべからず。

○上旬

下種

下種 煙草・蔘・藍・夏葱・チーゼル・種々の草花類並に松・杉・扁栢・梧桐・柿等を床蒔す。茄子・蕃茄・胡瓜・西瓜・南瓜・蕃椒等も冷床に蒔きて妨なし。大麻・亞麻・馬鈴薯・牛蒡・蓮根・青刈用の間作大豆等を下種す。

移植

移植 葱を假植す。菊を植う。蜜柑類・橙等の常緑樹を植付てよし。樹苗の床替を行ふ。

手入

手入 油菜に土寄し、適宜摘心すべし。玉葱・甘藍・花椰菜・百合・杞柳等に施肥中耕を行ふ。豌豆に支柱を立つ。煙草・蔘・藍・草花類を間引く。苗代の外種々の苗床を整ふ。空地は速かに耕して整地すべし。

收穫

收穫 時無大根・筍・筆頭菜・夏橙等を收む。促成したる胡瓜を取り始む。

病蟲害防除

病蟲害防除 果樹・桑樹・桐等の介殼虫は四五倍に釋めたる石油乳劑にて驅除し、果樹の病害には開花中を避け、其前後に二斗五升位のボルドー合劑を撒布すべし。

雑事

雑事 速かに水路を修復すべし。蠶室・蠶具を準備し消毒すべし。製茶の準備を調ふ。雛を育つるによるし。

○中旬

近畿地方

下種	移植	接木	手入
<p><b>下種</b> 煙草、藍、蕃椒、茄子、胡瓜、西瓜、薯蕷のむかご及び諸種の草花類を床に蒔く。大麻、亞麻、菜豆、蓮根、薯蕷、夏菜、夏大根、二十日大根、青刈用の間作大豆等を下種す。南瓜、西瓜、扁蒲、越瓜、甜瓜、苦瓜、絲瓜等は直蒔にして切藁にて寒よけをなし置くべし。</p>	<p><b>移植</b> 蜜柑、檳榔樹等の常緑樹を移植す。樹苗の床替を行ふ。温床内にて茄子、蕃茄、胡瓜等を移植す。</p>	<p><b>接木</b> 柿、蜜柑類、枇杷等は大抵割接にす。</p>	<p><b>手入</b> 速かに麥類及び油菜、豌豆、蠶豆等の土寄を終るべし。油菜は適宜摘心して利あり。秋蒔の甘藍、花椰菜等に施肥す。煙草、麥、藍、夏菜、夏大根、草花類を間引く。苗床の病虫害防除、灌水等にはよく注意すべし。苗代を整地す。</p>

收穫	雜事	下種	移植
<p><b>收穫</b> 石刁柏、筍、筆頭菜、時無大根、夏橙、軟化土當歸、促成の胡瓜等を採收す。</p>	<p><b>雜事</b> 稻粃を選る。鹽水選の比重は粃は一・一〇乃至一・二。二糯及び陸稻は一・〇八乃至一・一〇を標準とす。春蠶の催青を始む。蠶室、蠶具を準備消毒す。製茶の準備を調ふ。雛を育つ。水路、畦畔を修理す。</p>	<p><b>下種</b> 薑菜、豆、苳豆、里芋、佛掌薯、薯蕷、大黃、菊芋等を下種す。南瓜、西瓜、甜瓜、越瓜、絲瓜、扁蒲、苦瓜等は直蒔にし切藁を被ひ置くべし。瓜と薯類とは麥の間作とすること多し。</p>	<p><b>移植</b> 麥の作間に胡瓜、西瓜等を植出す。樟樹、梧桐、檉等を定植す。</p>

○下旬

接木	蜜柑及び柿を接ぐ。
手入	速かに麥類豌豆の土寄を終るべし。煙草、蓼藍、牛蒡、瓜類、夏菜、草花類を間引く。玉葱、葱、甘藍、牛蒡、夏菜等に施肥す。苗代を整地す。苗床をよく管理すべし。
收穫	收穫 莢豌豆、冬、右、刀、栢、土、當、歸、符、蓼、間、引、菜、夏、橙、促、成、の、胡、瓜、野、蜀、葵、等、を、採、收、す。
病蟲害防除	瓜類は根元に硫黄華又は木灰を施して立枯病を豫防すべし。麥類の黒穂は速かに拔取るべし。
雑事	雑事 地中に挿し置きたる杞柳の皮を剥ぐ。稻粃を選び、播種前三四日間水に浸すべし。鹽水選の比重は粃は一・一〇乃至一・一二、糯及び陸稻は一・〇八乃至一・一〇位とすべし。春蠶を催青す。早きものは末日頃に掃立つ。製茶の準備を整ふ。

此頃分晩したる家畜は生育殊によろし。

○沿岸地方にては十一月に始めたる海苔の採集を終る。

○法律によりて四月十五日より十月十四日迄は種々の鳥類の捕殺を禁ぜられたり、若し農作を害する鳥類多ければ府縣知事の許可を得て捕獲すべし。

五月

本月は稻を蒔き、蠶を掃立て、苗を植出し、茶を製造し、下旬には麥と油菜とを收穫す。所謂八十八夜は此月の始めにして此頃より耕作漸く忙はしくなるべし。

○上旬

下種	移植	接木	手入	收穫
<p><b>下種</b> 水稲を苗代に蒔く。下種後五十日にして挿秧するを普通とす。蕎麥、草棉、瓜類、菜豆、豇豆、鵲豆、薑里芋、佛掌薯、蒟蒻、大黃、菊芋等を下種す。薑と薯類とは多く麥の間作とす。</p> <p><b>移植</b> 溫室仕立の茄子、胡瓜、西瓜、南瓜、蕃椒、蕃茄等は多く麥の作間に植出す。此頃欸冬を移植することあり。樟樹、檜等</p>	<p><b>接木</b> 蜜柑の接木も此頃より遅きは害あり。</p>	<p><b>手入</b> 苗代はよく整地施肥し、下種後二三日を経て代乾しをなすべし。蘭玉葱、百合、蓮根等に除草及び施肥を行ふ。蓼、藍、大麻、直蒔の瓜類等を間引きて除草施肥す。</p>	<p><b>收穫</b> 甘藍、筍、軟化土、當歸、石刁柏、高苜、欸冬、蓼、莢、豌豆、夏橙、促成、の胡瓜、茄子、洋苺等を採收す。一番茶を摘み始む。桑葉を</p>	

病蟲害防除	雑草	下種	移植
<p>採る。燕菁の種子を收む。</p> <p><b>病蟲害防除</b> 麥の黑穗は出穂後速かに拔取るべし。此頃桑茶等の新芽の凍害にかゝること多し、天候に注意して豫防の準備をなすべし。</p>	<p><b>雑草</b> 陸稻を選種す。春蠶を掃立つ。茶を製造す。種々の家畜を此頃分娩する様になし置けば生育よろし。蜜蜂の分封を始むる頃なれば其舉動に注意し新箱を用意し置くべし。</p>	<p><b>下種</b> 陸稻、蕎麥、玉蜀黍、草棉、落花生、蒟蒻等を下種す。</p>	<p><b>移植</b> 煙草を定植す。苗床仕立の蕃椒、茄子、蕃茄、胡瓜、西瓜、南瓜、越瓜並に草花類を植出す。此頃欸冬を植付くることあり。</p>

○中旬

手入	收穫	病蟲害防	雑草
<p>手入 苗代の灌水其他の管理に注意すべし。直蒔瓜類及び牛蒡を間引きて施肥すべし。土當歸、款冬、蓮根、百合等の除草、施肥を行ふ。酸漿を中耕、肥培す。胡瓜に支柱を立つ。桃、梨、苹果の幼果を間引く。薑に藁を敷く。</p>	<p>收穫 甘藍、花椰菜、款冬、苜蓿、石刁柏、土當歸、茨、豌豆、高苳、二十日大根、蓼、促成したる胡瓜、茄子、蕃茄等を收納す。桑及び一番茶を摘採す。漆液を搔き始む。</p>	<p>病蟲害防 麥の黑穗を抜く。葡萄の露菌には二斗式位のボルドー液を撒布すべし。</p>	<p>雑草 春蠶を飼育す。陸稻を選種す。茶を製造す。蜜蜂の分封期なれば注意肝要なり。</p>

○下旬

下種	移植	手入	收穫
<p>下種 陸稻、蕎麥、玉蜀黍、草棉、小豆、豇豆、落花生、刀豆等を蒔く。</p>	<p>移植 煙草、蓼、藍を定植す。茄子、蕃茄、南瓜並びに草花類を本植す。</p>	<p>手入 馬鈴薯、牛蒡、酸漿、茶樹等の施肥、中耕を行ふ。茄子、瓜類の寒よけを除く。胡瓜、南瓜、西瓜、チーゼル等は適宜摘心すべし。竹林、款冬、夏菜等に施肥す。百合の花は開かざる前に摘取るべし。麥刈後は速かに種々の間作、作物の除草、中耕、施肥を行ふべし。梨、桃及び苹果の幼果を間引く。苗代の管理を怠るべからず。</p>	<p>收穫 早生の油菜、裸麥を收穫す。豌豆、蠶豆の嫩莢、甘藍、苜蓿、石刁柏、胡瓜、款冬、高苳、二十日大根、蓼、桑、樅、促成したる洋苺、茄</p>

除病蟲害防

雜事

行事の大

子蕃茄等を收納す。茶及び桑を摘む。漆液を搔き始む。緑肥は開花の頃刈取るべし。

病蟲害防除——苗代に螟蟲蛾の點燈誘殺を始む。葡萄の病害多ければボルドー合劑を撒布すべし。

雜事——蠶を飼育す。茶を製造す。麥の穗選を行ふ。蜜蜂の分封に注意すべし。

六月

梅雨に先ちて麥及油菜を收むべし。本月は稻を植る。夏の穀菽を蒔き、瓜類を培養し、或は蠶を上簇せしめ、果物を間引くなど冬作と夏作との交代季にして農事最も多忙なる時なり。

下種

移植

手入

○上旬

下種——大豆、小豆、落花生、刀豆、高苜蓿、櫻、桑等を蒔く。尙ほ草棉を蒔くもよし。

移植——甘藷、蕃椒、夏葱、草花類を定植す。

手入——苗代の除草及び灌水を行ふ。麥の間作とせる陸稻、瓜類、薯類等は麥刈後速かに除草中耕並に施肥すべし。瓜類は摘心を怠るべからず。草棉、玉蜀黍、牛蒡を間引きて中耕施肥す。茄子、蕃茄、佛掌薯、菜豆、鵲豆に支柱を立て、肥培す。薑、蒟蒻、蓮根、菌及び竹林に施肥す。百合の花を摘む。梨、桃の摘果及び袋かけを行ふ。此際速効の肥料を施すことあり。摘芽後の茶に施肥中耕す。桑を刈込む。水田を整ふ。

收穫	除病蟲害防	雑事	下種	移植	手入	
收穫 裸麥・小麥・大麥・油菜・蠶豆・豌豆・甘藍・玉葱・山葵・胡瓜・紫雲英・青刈大豆・高苺・二十日大根・夏菜・二番・冬・早作りの茄子	並に桑葉・桑椹・青梅等を收穫す。櫻欄皮及び葱の種子を採る。	病蟲害防除 苗代の螟蟲卵を採り、蛾は點燈して誘殺す。	雑事 麥・油菜・蠶豆等を乾燥す。春蠶を飼育上簇せしむ。尙ほ蜜蜂の分封するものもあるも、過度の分封は害あれば王卵を除きて之を止むべし。稲作肥料を準備す。	○中旬 下種 大豆・小豆・玉蜀黍・高苺・胡麻・桑・櫻等を蒔く。	移植 早生稻を植ゑる。始め甘藷・蕃椒・夏葱を定植す。花壇に草花を植出す。	手入 苗代の管理に従ひ、本田の整地を行ふ。麥刈後は其

收穫	除病蟲害防	雑事	
の間の作物の除草・肥培を急ぐべし。蕎麥を中耕・培土す。菜豆・鵲豆・茄子・蕃茄・絲瓜・苦瓜等は支柱を立て、他の瓜類は摘心して藁を敷き共に施肥すべし。薯蕷・里芋・大黃等に中耕・施肥す。桃・梨・葡萄等の幼果を間引き、順次袋かけを行ふ。之と同時に速効の肥料を施すことあり。	收穫 大麥・裸麥・小麥・油菜・蠶豆・青刈大豆・早生馬鈴薯・甘藍・玉葱・胡瓜・山葵・冬・早作りの茄子・梅・洋莓・早生枇杷等を收納す。大根及び葱の種子を採る。	病蟲害防除 苗代の害蟲を驅除す。殊に苗取り前には十分灌水して石油を注ぎ、浮塵子を驅除すべし。	雑事 繭搔を始む。麥・油菜はよく乾燥すべし。雨多ければ禾架を設くるをよしとす。豌豆・蠶豆を調製す。



下種 移植 手入 收穫 雑事

○下旬

下種 粟黍蜀黍大豆胡麻高苳枇杷桑等を蒔く。

移植 稻を植う。甘藷蕃椒を定植す。

手入 水田を整地し又灌水及び施肥すべし。陸稻の第一

中耕施肥を行ふ。麥刈後は其間作物の除草施肥中耕を行

ひ。或は畦を立かふべし。蕎麥に培土す。草棉蓼藍菜豆豇豆鵲

豆等を中耕施肥す。菜豆鵲豆には支柱を設く。梨の袋かけを

行ふ。菊の側芽を摘み始む。葡萄の蔓先を摘むことあり。

收穫 晩生小麥及び外國種大麥を刈る。馬鈴薯チーゼル

玉葱山葵高苳夏菜胡瓜洋苺茄子枇杷梅等を採収す。大根の

種子を採る。

雑事 麥類及び油菜を乾燥調製す。此頃は所謂梅雨の候

にして黴の發生多ければ萬事に注意肝要なり。蠶室蠶具を掃除すべし。  
○兵庫縣の南海岸にては八月迄石花菜を採取す。

七月

本月は夏作物の培養期なれば水田と畑地との別なく除草施肥中耕に出精すべし。除草に追はるゝは農家の耻と心得べし。藺大麻及び瓜類を收納すべし。

○上旬

下種 粟黍慈姑枇杷等を蒔く。

移植 甘藷の蔓を挿植す。

手入	收穫	病蟲害防除	雑事
<p>手入 稲田を除草す。挿秧後十日位を経て一番除草をなし四五日にして蟹爪直しをなし後一週間毎に都合五回除草するを普通とす。陸稲煙草、蓼藍草、棉牛蒡、落花生、里芋等の施肥中耕を行ふ。煙草には少しく培土す。佛掌薯の第二施肥及び除草をなす。百合の花を摘む。葡萄の蔓先を摘むことあり。</p>	<p>收穫 馬鈴薯、苧麻、チーゼル、菜豆の嫩莢、胡瓜、茄子、洋莓、山葵、夏大根、晚生枇杷、早生の苹果、桃等を收穫す。茶の二番摘を始む。</p>	<p>病蟲害防除 煙草の青蟲及び瓜蠅は早朝に捕殺すべし。</p>	<p>雑事 麥類を調製す。風穴に貯へたる蠶種は取出してより二週間にして發生すべければ便宜の節に掃立つべし。二</p>

手入	收穫
<p>手入 水田に慈姑を植う。</p> <p>移植 稻の二番三番除草を行ふ。又追肥すべし。陸稻の第一中耕及び中耕をなす。粟黍を間引きて施肥中耕す。玉蜀黍の煙草は中耕培土施肥すべし。大豆、小豆、胡麻、落花生、甘藷等の第一中耕施肥を行ふ。蒟蒻に施肥す。摘採後の茶に施肥中耕す。蜜柑の幼果を間引く。稻田の灌水には常に注意すべし。</p>	<p>收穫 夏蕎麥、茄子、蕃茄、胡瓜、西瓜、南瓜、越瓜、扁蒲、青蕃、椒、菜豆、鵲豆の嫩莢、菲、酸漿、桑葉、苹果、桃李等を順次採收す。茶の三番芽を刈取る。北山丸太の伐採期なり。野草を刈取る。</p>

○中旬

番茶を製造す。尚ほ梅雨霽れざることあれば黴の害を受けぬ様に種々注意すべし。

除病蟲害防	雜事	移植	手入	收穫
病蟲害防除	煙草の青蟲と瓜蠅とは毎朝捕殺すべし。	葱を定植す。水田に慈姑を栽植す。	稲の四番除草を行ふ。陸稻を除草中耕し少しく土を寄す。粟黍を間引きて中耕す。煙草草棉瓜類蕃茄を摘心す。	收獲
雜事	夏蠶を飼育す。番茶干瓢を製造す。	○下旬	茄子・薑佛掌薯蕷茶樹等に施肥す。茶を刈込む。煙草草棉陸稻・藍甘藷里芋等は乾燥に過ぐれば時々灌水すべし。蜜柑類を間引く。	越瓜・扁蒲採種の胡瓜・青蕃椒・蔞酸漿等を收穫す。杞柳を選刈りす。桃・苹果・中成子・李等を摘採す。玉葱を採種す。北山丸太

除病蟲害防	雜事	要行の大事
病蟲害防除	水田にては常に浮塵子の發生に注意すべし。此頃より米麥の貯藏庫に穀象の發生多きに至ることあり。庫を密閉して二硫化炭素にて驅除すべし。	八月
雜事	夏蠶を飼育し上簇せしむ。番茶及干瓢を製造す。煙草を乾燥す。	中下旬に入りて水田の除草を終らば専ら畑地と果樹園
要行の大事	○北海の沿岸にては三月に始めたる石花菜の採收を終はる。	近畿地方

との除草灌水に勉むべし。又瓜類果物を摘採し下旬に至れば大根漬菜類の作付地を整理すべし。

○上旬

下種 胡蘿蔔及び食用の聖護院大根を蒔き始む。

移植 葱を定植す。水田に慈姑を植う。

手入 稻田の最終除草を行ふ。甘藷を除草中耕し始めて

蔓返をなす。粟黍を間引きて施肥中耕す。陸稻蜀黍玉蜀黍大

豆小豆等を中耕培土す。刈取後の蓼藍をよく肥培すべし。茄

子に施肥す。果樹類の枝を曲げ或は緑枝を剪定す。胡瓜の枯

蔓を揚げて跡地を整ふ。畑に灌水すべし。

收穫 大麻蕎麥煙草の土葉蓼藍蘭茄子蕃茄蕃椒西瓜南

瓜扁蒲越瓜甜瓜苦瓜酸漿鐵砲百合桃李苹果早生梨早生赤洋

瓜

除蟲害防

病蟲害防除 稻田の浮塵子を驅除す。貯穀の象鼻蟲穀象

は二硫化炭素にて驅除すべし。

雑事 蓼藍煙草扁蒲等を乾燥製造す。大麻杞柳は浸水し

て後剥皮すべし。蠶具を洗滌陽乾してよし。

○中旬

下種 秋作馬鈴薯胡蘿蔔蕪食用の大根等を蒔く。

手入 陸稻粟黍等に培土す。草棉薑葱里芋等を中耕肥培

す。煙草と菊とは不斷摘芽すべし。果樹類の枝を曲げ又は緑

枝を剪定して樹形を整ふべし。又よく除草すべし。乾燥に過

ぐれば陸稻甘藷煙草里芋瓜類等には適宜灌水すべし。秋茄

子<sup>す</sup>を收<sup>と</sup>めんとせば枝<sup>えだ</sup>を切<sup>き</sup>りてよく肥<sup>ひ</sup>培<sup>ば</sup>すべく然<sup>しか</sup>らざるものは收<sup>と</sup>穫<sup>と</sup>し終<sup>は</sup>るべし。

收穫

大<sup>あ</sup>麻<sup>あし</sup>煙<sup>たば</sup>草<sup>こ</sup> 蓼<sup>た</sup>藍<sup>あ</sup>菜<sup>いん</sup>豆<sup>せん</sup> 鵲<sup>あ</sup>豆<sup>ま</sup> 茄子<sup>な</sup> 西瓜<sup>あ</sup> 南瓜<sup>あ</sup> 蕃<sup>あ</sup>椒<sup>あ</sup> 蕃<sup>あ</sup>茄<sup>あ</sup> 扁<sup>あ</sup>

蒲<sup>あ</sup>甜<sup>あ</sup>瓜<sup>あ</sup> 越<sup>あ</sup>瓜<sup>あ</sup> 苦<sup>あ</sup>瓜<sup>あ</sup> 鐵<sup>あ</sup>砲<sup>あ</sup> 百<sup>あ</sup>合<sup>あ</sup> 酸<sup>あ</sup>漿<sup>あ</sup> 夏<sup>あ</sup>葱<sup>あ</sup> 牛<sup>あ</sup>蒔<sup>あ</sup> 芋<sup>あ</sup> 果<sup>あ</sup> 桃<sup>あ</sup> 早<sup>あ</sup>生<sup>あ</sup>の 葡<sup>あ</sup>萄<sup>あ</sup>

梨<sup>あ</sup> 洋<sup>あ</sup>李<sup>あ</sup> 等<sup>あ</sup>を收<sup>と</sup>穫<sup>と</sup>す。牛<sup>あ</sup>蒔<sup>あ</sup>の種<sup>あ</sup>子<sup>あ</sup>を採<sup>と</sup>る。杉<sup>あ</sup>の用<sup>あ</sup>材<sup>あ</sup>を伐<sup>あ</sup>る。此<sup>あ</sup>頃<sup>あ</sup>

採<sup>と</sup>りたる漆<sup>あ</sup>液<sup>あ</sup>は良<sup>あ</sup>質<sup>あ</sup>なり。野<sup>あ</sup>草<sup>あ</sup>を刈<sup>あ</sup>取<sup>あ</sup>る。

病蟲害防除

此<sup>あ</sup>頃<sup>あ</sup>夜<sup>あ</sup>盜<sup>あ</sup>蟲<sup>あ</sup>の大<sup>あ</sup>發<sup>あ</sup>生<sup>あ</sup>をなすことあり。溝<sup>あ</sup>を穿<sup>あ</sup>ちて蔓<sup>あ</sup>延<sup>あ</sup>を防<sup>あ</sup>ぐべし。水<sup>あ</sup>田<sup>あ</sup>の浮<sup>あ</sup>塵<sup>あ</sup>子<sup>あ</sup>に注<sup>あ</sup>意<sup>あ</sup>すべし。

雜事

蠶<sup>あ</sup>具<sup>あ</sup>類<sup>あ</sup>を洗<sup>あ</sup>滌<sup>あ</sup> 陽<sup>あ</sup>乾<sup>あ</sup>してよし。蓼<sup>あ</sup>藍<sup>あ</sup>煙<sup>あ</sup>草<sup>あ</sup> 干<sup>あ</sup>瓢<sup>あ</sup>等<sup>あ</sup>を乾<sup>あ</sup>

燥<sup>あ</sup>製<sup>あ</sup>造<sup>あ</sup>す。大<sup>あ</sup>麻<sup>あ</sup>及<sup>あ</sup>び杞<sup>あ</sup>柳<sup>あ</sup>を精<sup>あ</sup>製<sup>あ</sup>す。

○下旬

下種

秋<sup>あ</sup>作<sup>あ</sup>馬<sup>あ</sup>鈴<sup>あ</sup>薯<sup>あ</sup> 薤<sup>あ</sup> 蕪<sup>あ</sup> 葵<sup>あ</sup> 食<sup>あ</sup>用<sup>あ</sup>の大<sup>あ</sup>根<sup>あ</sup> 蕪<sup>あ</sup> 菁<sup>あ</sup> 等<sup>あ</sup>を下<sup>あ</sup>種<sup>あ</sup>す。

手入

稻<sup>あ</sup>の穂<sup>あ</sup>孕<sup>あ</sup>期<sup>あ</sup>なればよく灌<sup>あ</sup>漑<sup>あ</sup>すべし。甘<sup>あ</sup>藷<sup>あ</sup>の蔓<sup>あ</sup>を返<sup>あ</sup>

す。胡<sup>あ</sup>蘿<sup>あ</sup> 葡<sup>あ</sup>萄<sup>あ</sup> 葵<sup>あ</sup> 食<sup>あ</sup>用<sup>あ</sup>の大<sup>あ</sup>根<sup>あ</sup> 蕪<sup>あ</sup> 菁<sup>あ</sup> 等<sup>あ</sup>を間<sup>あ</sup>引<sup>あ</sup>く。葱<sup>あ</sup>を中<sup>あ</sup>耕<sup>あ</sup> 肥<sup>あ</sup>培<sup>あ</sup>す。秋<sup>あ</sup>

茄<sup>あ</sup>子<sup>あ</sup>を收<sup>あ</sup>めんとせばよく肥<sup>あ</sup>培<sup>あ</sup>すべし。桑<sup>あ</sup>園<sup>あ</sup> 果<sup>あ</sup>樹<sup>あ</sup>園<sup>あ</sup>を除<sup>あ</sup>草<sup>あ</sup>す。

秋<sup>あ</sup>蒔<sup>あ</sup>の蔬<sup>あ</sup>菜<sup>あ</sup> 畑<sup>あ</sup>を整<sup>あ</sup>地<sup>あ</sup>す。林<sup>あ</sup>地<sup>あ</sup>の下<sup>あ</sup>草<sup>あ</sup>を刈<sup>あ</sup>る。

收穫

煙<sup>あ</sup>草<sup>あ</sup> 蕃<sup>あ</sup>椒<sup>あ</sup> 芋<sup>あ</sup> 麻<sup>あ</sup> 薯<sup>あ</sup> 蕪<sup>あ</sup> 苳<sup>あ</sup> 豆<sup>あ</sup> 胡<sup>あ</sup> 麻<sup>あ</sup> 茄<sup>あ</sup> 子<sup>あ</sup> 蕃<sup>あ</sup> 茄<sup>あ</sup> 西<sup>あ</sup> 瓜<sup>あ</sup> 南<sup>あ</sup> 瓜<sup>あ</sup> 扁<sup>あ</sup>

蒲<sup>あ</sup> 越<sup>あ</sup> 瓜<sup>あ</sup> 牛<sup>あ</sup> 蒔<sup>あ</sup> 夏<sup>あ</sup> 葱<sup>あ</sup> 鐵<sup>あ</sup> 砲<sup>あ</sup> 百<sup>あ</sup> 合<sup>あ</sup> 玉<sup>あ</sup> 蜀<sup>あ</sup> 黍<sup>あ</sup> の嫩<sup>あ</sup> 穂<sup>あ</sup> 早<sup>あ</sup> 生<sup>あ</sup> 梨<sup>あ</sup> 泰<sup>あ</sup> 平<sup>あ</sup> 桃<sup>あ</sup> 苹<sup>あ</sup> 果<sup>あ</sup>

早<sup>あ</sup>生<sup>あ</sup> 葡<sup>あ</sup> 萄<sup>あ</sup> 等<sup>あ</sup>を順<sup>あ</sup>次<sup>あ</sup>採<sup>あ</sup>收<sup>あ</sup>す。杉<sup>あ</sup>の用<sup>あ</sup>材<sup>あ</sup>を伐<sup>あ</sup>る。此<sup>あ</sup>頃<sup>あ</sup>搔<sup>あ</sup>取<sup>あ</sup>りたる

漆<sup>あ</sup>液<sup>あ</sup>は良<sup>あ</sup>質<sup>あ</sup>なり。

雜事

煙<sup>あ</sup>草<sup>あ</sup> 干<sup>あ</sup>瓢<sup>あ</sup> 等<sup>あ</sup>を乾<sup>あ</sup>燥<sup>あ</sup>製<sup>あ</sup>造<sup>あ</sup>す。

○兵<sup>あ</sup>庫<sup>あ</sup>縣<sup>あ</sup>の沿<sup>あ</sup>岸<sup>あ</sup>地<sup>あ</sup>方<sup>あ</sup>にては十<sup>あ</sup>月<sup>あ</sup>迄<sup>あ</sup>鱈<sup>あ</sup>を漁<sup>あ</sup>る。又<sup>あ</sup>六<sup>あ</sup>月<sup>あ</sup>に始<sup>あ</sup>め

九月

豆類及び瓜類を收め、跡地を整へ、漬菜大根類を蒔き、又稻刈の準備を調へ、畑の除草に勉むべし。

○上旬

下種 秋作馬鈴薯並に漬物用の大根、蕪菁、漬菜等を蒔く。

接木 梨、桃、苹果等の芽接ぎを行ふ。

手入 稲の落花後は速かに水を落すべし。胡蘿蔔大根、蕪菁、漬菜等を蒔き、

菁漬菜等を蒔き、間引きて施肥すべし。葱を肥培す。甘藷の蔓を返

し、乾燥に過ぐれば里芋と同様に灌水すべし。果樹、桑園は雑

草の實らざる前によく除草すべし。林地の下草及び畦畔の

雑草を刈る。

收穫

收穫 煙草、胡麻、豆、薯蕷、玉蜀黍の嫩穂、枝豆、八ツ頭、芋、蕃椒、茄子、蕃茄、夏葱、牛蒡、西瓜、南瓜、扁蒲、越瓜、間引菜、中生梨、晚生苹果、葡萄、無花果等を順次採收す。里芋、蓮根を收め、始む。材用の杉、扁柏を伐採す。此頃は良質の漆液を收め得べし。

病蟲害防除

病蟲害防除 螟蟲被害の稻莖を拔取る。

○中旬

下種

下種 京菜、高菜等の漬菜類及び蕪菁を蒔く。チーズルは苗床に、紫雲英は落水の後水田に撒播すべし。

移植

移植 欸冬、洋莓及び竹類の移植を始む。

手入

手入 稲田の水を落す。甘藷の蔓を返す。大根、漬菜、蕪菁等を蒔き、

園を除草中耕す。林地の下草及び畦畔の雑草を刈る。瓜の枯蔓を揚げ、麥・油菜の作付地を整ふ。

收穫 棉を摘み始む。菜豆、鵲豆、小豆、蕃椒、玉蜀黍の嫩穂、枝豆、葱、牛蒡、蕃茄、秋茄子、扁蒲、絲瓜、里芋、薯蕷、蓮根、間引菜、晚生萃

果、中生梨、葡萄、無花果、早生柿、栗、漆液等を收む。

病虫害防除 螟虫被害の稻莖を拔取る。

雑事 棉干瓢、絲瓜を乾燥す。稻刈の準備をなす。

○下旬

下種 甘藍、花椰菜、壬生菜、高菜、百合、菠薐草等を蒔く。早生

油菜、葱、チーゼル、高苜蓿、種々の草花類は床蒔にす。紫雲英と苜

蓿は稻の株間に蒔く。

移植 欸冬、洋莓、水芹、竹類を植付く。

移植

手入

手入 油菜、其他の苗床を整地す。漬菜、大根類の二番間引

を行ひ、施肥中耕す。秋作馬鈴薯及び葱に肥培す。胡蘿蔔、竹林

に施肥す。桑と果樹とを除草す。瓜類の蔓を揚ぐ。麥の作付地

を整ふ。水田の稗を抜き、畦畔の雑草を刈る。

收穫 早生粟、菜豆、刀豆、小豆、棉、輸出向の蕃椒、葱、里芋、薯蕷、

牛蒡、蓮根、秋茄子、蕃茄、絲瓜、間引菜、葡萄、梨、無花果、早生甘柿、鹵

簞等を順次收穫す。

病虫害防除 稻の枯穂を抜く。菊の心切虫を捕殺す。

雑事 油菜の種子を水選す。煙草の葉延を始む。絲瓜と棉

とを乾燥す。稻刈を準備す。

○丹後但馬の沿岸にては十二月迄鱈を漁る。

十月

要行事の大

本月は稻大小豆の外に種々の夏作を收め、跡地を整へ、麥油菜蠶豆等の冬作を蒔き、又大根漬菜をよく肥培すべし。

○上旬

下種

下種 油菜玉葱甘藍花椰菜葱高苜並に撫子矢車草等の草花類を床蒔す。油菜は直蒔にするもよし。蠶豆時無大根蒞稜草百合苜蓿等を下種す。

移植

移植 洋苺水芹竹類を移植す。

手入

手入 油菜の一番間引を行ふ。胡蘿蔔大根漬菜類を間引き、施肥して少しく培土す。秋作馬鈴薯及び葱にも肥培す。甘藷の最終蔓返しを行ふ。麥油菜の作付地を整ふ。水田の稗を

收穫

ぬき又畦畔の雜草を刈る。

除病蟲害防

收穫 極めて早生の水陸稻を刈る。粟黍小豆菜豆刀豆棉蕃椒絲瓜薑里芋牛蒡葱秋茄子蓮根、食用の大根、漬菜、葡萄栗、早生柿、菌、簞等を採收す。

雜事

病蟲害防 漬菜及び大根類のくろこさるはむし、菊の心切蟲等を捕殺す。

下種

雜事 陸稻及び早生稻の穗選りを行ふ。棉及び絲瓜を乾燥す。煙草の葉延を行ふ。

○中旬

接木

下種 油菜蠶豆豌豆時無大根百合並に種々の草花球根類を下種す。林地に黃蓮を蒔く。接木 牡丹を接ぐ。



手入	收穫	除病蟲害防	雑事	下種
<p>手入 油菜を間引きて施肥す。京菜、高菜、菠菜、蔞草等を間引きて施肥中耕す。麥作地を整ふ。</p>	<p>收穫 早生の水稻、陸稻、粟、蜀黍、大豆、小豆、輸出用蕃椒等を收穫す。棉、甘藷、絲瓜、蒟蒻、芋、茄子、薑、牛蒡、蓮根、食用の大根、漬菜、葱、柿、晩生梨、栗、菌、簞等を順次に採收す。櫻櫚の二番皮を剥ぎ取る。</p>	<p>病蟲害防 漬菜、大根類のさるはむし及び蕪蜂の幼蟲は毎朝捕殺すべし。</p>	<p>雑事 刈取稻を乾燥す。煙草の葉延しをなす。棉及び絲瓜を乾燥す。</p>	<p>下種 豌豆、蠶豆、山葵、漆等を下種す。黃蓮は林地に蒔くを</p>

○下旬

普通とす。

移植	接木	手入	收穫	除病蟲害防
<p>移植 京菜及び菠菜草を移植することあり。</p>	<p>接木 牡丹の切接を行ふ。</p>	<p>手入 油菜及び時無大根の間引及び施肥を行ふ。蔞草を除草中耕す。棉莖を抜取る。瓜類の蔓を揚ぐ。欸冬、石刁柏等に切藁を施す。麥作地を整ふ。庭木、夏橙等に寒覆をなす。</p>	<p>收穫 水陸稻、玉蜀黍、粟、黍、蜀黍、大豆、小豆、牛蒡、芋、輸出用蕃椒、蒟蒻等を收穫す。絲瓜、甘藷、佛掌薯、薑、葱、食用の大根、漬菜、蓮根、栗、柿、漆、杉、松、扁柏、梧桐の種子等を順次に採收す。</p>	<p>病蟲害防 麥の種子に黒穗病の豫防として冷水温湯浸法を行ふ。其法は六時間冷水に浸し、後華氏百三十度の温湯に五分間浸漬するなり。</p>

雑事

雑事——稲を乾燥し、大小豆を調製す。麥類に鹽水選をなす。鹽水の比重は大麥は一・一〇乃至一・一二位とし、裸麥・小麥は一・二〇位とすべし。

○兵庫縣の沿岸地方にては、八月より始めたる鱈漁を終る。十月十五日より四月十四日迄は法律によりて定められたる保護鳥の外は狩獵を許さる。

十一月

行事の大要

前月に續きて夏の穀菽蔬菜を收納調製し、麥油菜豌豆等の冬作物を蒔くべし。又樹木を移植し始めてよし。

○上旬

下種

移植

手入

收穫

下種——豌豆蠶豆山葵漆栗等を蒔く。黃蓮は林地に蒔くを普通とす。

移植——甘藍花椰菜の第一假植を行ふ。晚生京菜を移植することあり。漆梧桐を定植す。

手入——蠶豆及び時無大根を間引く。油菜京菜及び高菜の最終間引を行ひて施肥す。棉蕃椒茄子の枯莖を抜く。麥作地を整ふ。欵冬石刁柏等に切藁を施す。庭木蜜柑類に寒覆をなす。果樹園の落葉を集めて焼くをよしとす。

收穫——稲を刈終る。黍粟玉蜀黍大豆落花生絲瓜輸出用蕃椒蒟蒻甘藷佛掌薯秋作馬鈴薯牛蒡里芋等を收穫す。葱煮食用の大根蕪菁漬菜類蓮根水芹並びに柿栗櫻欄漆榿松杉扁栝梧桐檜の種實等を順次採收す。山に葛根を掘る。

除病蟲害防

病蟲害防除 麥種子に黑穗病の豫防を行ふには冷水に六時間浸して後華氏百三十度の温湯に五分間浸漬すべし。雑事 麥の種子を選る。稻粟黍大豆等を乾燥調製す。蠟燭を乾柿を作る。

○中旬

下種

下種 裸麥小麥大麥粟漆等を蒔く。

移植

移植 甘藍花椰菜等を假植す。果樹桑漆樹等を移植し始めてよし。秋蒔草花類を移植す。

手入

手入 油菜の最終間引をなして後施肥すべし。此頃より果樹を剪定施肥す。根刈桑を結束して中耕す。麥作地を整地す。果樹園の落葉は集めて焼くをよしとす。

收穫

收穫 玉蜀黍甘藷落花生馬鈴薯薑里芋佛掌薯牛蒡杞柳

除病蟲害防

等は結霜後速かに收納すべし。煮食用大根漬菜蕪菁蓮根葱水芹柿温州蜜柑等を採收す。山に葛根を採收す。漆液を搔終る。病蟲害防除 麥の種子は下種前に黑穗病豫防を行ふべし。

雑事

雑事 麥種子を選種す。稻はよく乾燥して後扱落すべし。薯類は收穫後數日間乾燥して貯藏するをよしとす。蠟燭を製造す。乾柿を作る。

○下旬

下種

下種 大麥裸麥小麥百合等を速かに下種すべし。

移植

移植 早生油菜を定植す。果樹桑桐等を栽植す。

挿木

挿木 杞柳の枝を八九寸に切りて挿木す。

手入

手入 土當歸石刁柏等の枯莖を刈り施肥して切藁を被ふべし。根刈桑は結束して中耕す。果樹類を剪定し、茶桑と共に中耕施肥す。竹林に堆肥等を施す。果樹園の落葉は集めて焼くをよしとす。

收穫

收穫 玉蜀黍甘藷馬鈴薯牛蒡薑杞柳蓮根等を收め終る。大根漬菜蕪菁葱水芹蜜柑等を順次採收す。山に葛根を掘る。林木を伐採す。

雑事

雑事 稻を扱き、粃を乾燥す。蠟を製造す。蜜蜂の窠箱を菰包みにして寒を防ぐべし。乾柿を製造す。炭を焼き始む。○沿岸地方にては一般に來春四月迄海苔を採收す。

要行事の大

十二月

稻粃を調製し、麥油菜の一番中耕を行ひ、蔬菜類を收め、又果樹を剪定移植してよし。暇あれば空地を耕起すべし。

○上旬

移植 油菜を移植する普通の頃なり。桑果樹を定植す。採種用の早生大根を移植す。

挿木

挿木 杞柳の枝を八九寸に切りて挿木す。

手入

手入 蠶豆豌豆の中耕施肥を行ふ。根刈桑を結束して中耕す。果樹庭木類の剪定施肥を行ふ。竹林に堆肥等を施すべし。藪田を整地す。空畑を耕起す。

收穫

收穫 馬鈴薯白菜京菜蕪菁大根葱牛蒡慈姑蓮根種用の

收穫	手入	移植	下種	雑事
收穫	手入	移植	下種	雑事
馬鈴薯漬物用の大根・蕪菁漬菜・京菜・結球白菜・葱・慈姑・胡蘿	麥類及び直蒔の油菜・蠶豆・豌豆等の一番中耕並に	速かに油菜を植出すべし。甘藍の第二假植をなす。	枳殻を蒔く。	薯蕷・薑・胡椒・蘿蔔・水芹・蜜柑等を收納す。林木を伐採す。
	果樹庭木類を剪定施肥す。紫雲英に切藁を施して寒よけとす。藺田を整地す。空地を耨く。	チーゼル・桑果樹採種の蕪菁漬菜・大根・牛蒡等を移植す。菊の株を分けて移植す。	○中旬	雑事 稲刈を摺りて俵装す。種々の藁仕事に従ふ。炭を焼く。藺を選別す。
				○下旬
				下種 枳殻を蒔く。
				移植 藺・チーゼル及び採種用の大根・蕪菁漬菜・牛蒡等を
				移植す。甘藍の第二假植をなす。菊の株を分けて移植す。
				手入 麥類・油菜・蠶豆の一番中耕並に施肥を行ふ。果樹・
				庭木類を剪定し。茶・桑・竹類と共に施肥す。紫雲英に切藁を覆
				ふ。藺田を整地す。空地を耨く。
				收穫 漬物用の大根・京菜・高菜・蕪菁・牛蒡・葱・蓮根・慈姑・胡蘿

收穫	手入	移植	下種	雑事
收穫	手入	移植	下種	雑事
漬物用の大根・京菜・高菜・蕪菁・牛蒡・葱・蓮根・慈姑・胡蘿	麥類・油菜・蠶豆の一番中耕並に施肥を行ふ。果樹・	速かに油菜を植出すべし。甘藍の第二假植をなす。	枳殻を蒔く。	薯蕷・薑・胡椒・蘿蔔・水芹・蜜柑等を收納す。林木を伐採す。
	庭木類を剪定し。茶・桑・竹類と共に施肥す。紫雲英に切藁を覆	チーゼル・桑果樹採種の蕪菁漬菜・大根・牛蒡等を移植す。菊の株を分けて移植す。	○中旬	雑事 稲刈を摺りて俵装す。種々の藁仕事に従ふ。炭を焼く。藺を選別す。
				○下旬
				下種 枳殻を蒔く。
				移植 藺・チーゼル及び採種用の大根・蕪菁漬菜・牛蒡等を
				移植す。甘藍の第二假植をなす。菊の株を分けて移植す。
				手入 麥類・油菜・蠶豆の一番中耕並に施肥を行ふ。果樹・
				庭木類を剪定し。茶・桑・竹類と共に施肥す。紫雲英に切藁を覆
				ふ。藺田を整地す。空地を耨く。
				收穫 漬物用の大根・京菜・高菜・蕪菁・牛蒡・葱・蓮根・慈姑・胡蘿

雑事

葡萄水芹温州蜜柑紀州蜜柑枳殼等を收納す。林木を伐採す。  
 雑事——稲粃を摺りて俵装す。促成の温床を準備し。藁細工  
 をなす。其他帳簿を調べ、圃場及び家の内外を整理掃除して  
 新年を迎ふるの準備をなすべし。  
 ○北沿岸にては三月に始めたる鱈の漁獵を終り、又九月よ  
 りの鯉漁をも終る。

### 近畿地方之部終

### 第四

## 東海地方

### ○氣候概要

東海地方の氣候

本地方中静岡縣下伊豆の南半部は、四國九州地方に似たる  
 氣候を有し、其他も一般に年平均氣温十四五度の間にあり  
 て、冬季一二月の頃にても尙其平均氣温三度を下ることな  
 く、春時三ヶ月間にありては十二度乃至十三度半の間を上  
 下し、爲によく暖帶植物の數種を産す。積雪は稀なるも降水  
 量は甚だ多く、又八九月の交には暴風の害大なることあれ  
 ども、北には山脈を負ひ南は大洋に面せるを以て、年内氣温

の振幅は割合に小なり  
域内各地の各月及年平均気温並に霜雪期節は凡左の如し。

平均気温

平均気温

平均気温	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	年平均
沼津	五、一	五、五	八、七	一三、六	一七、一	二一、〇	二四、四	二五、七	二三、八	一七、二	一三、〇	七、五	一五、〇
濱松	四、九	五、二	八、四	一三、七	一七、二	二一、〇	二四、五	二五、九	二三、〇	一七、四	一三、〇	七、二	一五、〇
名古屋	三、三	三、七	七、四	一三、三	一七、五	二一、六	二五、五	二六、六	二三、七	一六、五	一〇、六	五、四	一四、五
津	四、二	四、二	七、二	一三、八	一七、九	二一、二	二五、〇	二六、一	二三、七	一六、四	一〇、〇	六、四	一四、五
岐阜	三、〇	三、五	七、〇	一三、九	一七、〇	二一、四	二五、三	二六、四	二三、七	一六、五	一〇、四	五、三	一四、三
彦根	三、三	三、二	六、二	一二、三	一五、七	二〇、四	二四、二	二五、八	二三、九	一五、七	一〇、二	五、七	一三、六

霜雪の期節

霜雪の期節

初雪	平均	最早	終雪	平均	最晩	初霜	平均	終霜	平均	最早
沼津	一月十九日	二十七年十二月十日	二月廿六日	二月廿九日	二十五年三月廿九日	十一月廿五日	三月廿三日	三十五年四月十四日	三月廿三日	三十五年四月十四日
濱松	十月廿三日	二十五年十一月廿六日	二月廿一日	三月廿九日	二十五年三月廿九日	十二月四日	三月二日	三十五年四月十四日	三月二日	二十一年三月十一日
名古屋	十月十二日	三十七年十一月七日	三月十日	三月廿九日	二十五年三月廿九日	十一月四日	四月二日	三十五年四月十四日	四月二日	三十五年四月十四日
津	十月廿二日	二十四年十一月七日	三月十四日	三月廿九日	二十五年三月廿九日	十一月五日	四月五日	三十八年四月廿三日	四月五日	三十八年四月廿三日
岐阜	十二月十日	三十七年十一月六日	三月十七日	三月廿九日	二十五年三月廿九日	十月廿三日	四月廿三日	三十六年五月十九日	四月廿三日	三十六年五月十九日
彦根	十二月八日	三十七年十一月六日	三月廿一日	三月廿九日	二十五年三月廿九日	十一月六日	四月十九日	三十六年五月十九日	四月十九日	三十六年五月十九日

○東海地方年中行事

一月

要行事の大

移植

手入

前年の末に續きて漬菜大根類を收め、稻を調製し、俵装すべし。又種々の農産物を精製し、空地を起し、或は耕地の整理工事を施すべし。屋外の仕事は多からざれば帳簿を調べ農具を修理し、又多く藁細工などに勉むべし。

○上旬

移植——玉葱を定植す。採種用の大根及び漬菜類を移植し藁にて寒よけをなすべし。

手入——始めて麥を鎮壓す。平時にしたる蠶豆の畦を立て



收穫	製造	雜事	下種
<p>て中耕す。高苜に中耕施肥を行ふ。種々の庭木類の枝を剪む。空地を鋤く。</p> <p><b>收穫</b> 漬物大根漬菜糖菁蓬葱胡蘿蔔蓮根等を收納す。</p> <p>三極楮及び樹木類を伐採す。樟樹及び枳殼の實を收む。</p>	<p><b>製造</b> 炭を焼く。三極楮等の皮を精製す。輸出用の薑に石灰を混ぜて乾燥製造す。種々の葦細工品を作る。漬物大根を乾燥す。</p>	<p><b>雜事</b> 稻粃を摺りて俵装す。藪を選別す。池溝の汚泥を浚ふ。豚及び羊を交尾せしむ。寒氣に對して家畜の保護を大切にすべし。</p>	<p><b>下種</b> 枳殼の種子を蒔く。</p>

○中旬

移植	手入	收穫	製造	雜事	下種
<p>移植 玉葱を定植す。</p>	<p>手入 適宜に麥の鎮壓を行ふ。果樹類、桐、竹、藪等に施肥す。</p>	<p>收穫 蕪菁漬菜、晚生大根、塘蒿、菁蓬、葱、蓮根等を收む。三極楮及樹木を伐採す。枳殼及樟樹の種實を採收す。鳥獸を狩る。</p>	<p>製造 前旬に續きて炭を焼き輸出用の薑を乾燥製造す。三極楮等の皮を精製す。又、苳、細草鞋等を作る。堆積肥料を製造す。</p>	<p>雜事 稻粃を摺りて俵装す。池溝の汚泥を浚へ。農具、馬具等を修復すべし。豚及び羊を交尾せしめてよし。</p>	<p>○下旬</p> <p>下種 枳殼の種子を蒔く。</p>

接木	手入	收穫	製造	雑事
接木 梅の殺接を始む。	手入 甘藍、花椰菜等に施肥及び中耕を行ふ。梨、桃、苹果、李等の果樹を剪定す。果樹並びに欸冬、洋莓、石刁柏、竹籜等に堆肥の類を施すべし。空地を鋤く。	收穫 葱、高苜蓿、塘蒿、薯蕷、晚生大根、京菜等を採收す。三椶楮及び林木を伐る。鳥獸を狩る。山野に葛根、車前、葉山、慈姑等を採る。	製造 輸出用の薑を乾燥す。楮、三椶楮の皮を剥ぎ、又炭を焼く。澱粉を作る。蕺細工に勉む。	雑事 稻粃を摺る。種々の種子、苗木又は接穂等を運搬するによし。池溝を浚ふ。

二月

要行事の大	接木	移植	手入
圃上の仕事は麥と油菜の施肥中耕、果樹剪定、施肥並びに耕地の土木工事等にして、すべて屋外の仕事には暇多きにより、農産物を精製し、蕺細工などの手仕事に勉め、農具の修繕、種苗の購入等を手落なき様にすべし。	○上旬 接木 梅の殺接を行ふ。	移植 苦竹、淡竹等を移植す。其他諸種の落葉樹木類を植えてよし。	手入 大麥、小麥、裸麥及び油菜の二番中耕を行ひ、追肥を施す。麥は生育の模様によりては尙一回踏つくべし。欸冬、土

當歸石刁栢等に施肥す。桃梨苹果李葡萄等の剪枝を行ひ、竹藪と同時に堆肥類を施すべし。空田の稻株を起し、暇あれば犁起すべし。

收穫 京菜高苣葱著蓮菠菜藜草塘蒿牛蒡金柑橙等を順次採收す。三椶楮諸種の薪炭材及び杉松等の針葉樹を伐り出す。山野に鳥獸を狩るによし。

雑事 炭を焼く。三椶楮等の製皮を行ふ。稻の扱摺は大抵此頃にて終るべし。果樹の接穂及び種苗蠶種等を運搬するによし。温床の準備をなす。藁細工及び肥料の堆積切返し等に從ふ。

○中旬

下種 青刈豌豆をまく。

接木

接木 梅の殺接松の割接を行ふ。

移植

移植 淡竹苦竹並びに諸種の樹木類は枝を切り縮めて移植すべし。此頃より温床に野蜀葵土當歸を植ゑ早作りとしてよし。

手入

手入 麥類及び油菜の二番中耕と施肥とを行ふ。秋蒔の豌豆蠶豆等を中耕す。此頃紫雲英苜蓿等に木灰等を施せば生育甚だ良し。葡萄桃梨等の剪定を行ふ。果樹類の寒肥は此頃迄にて終るべし。苗代田を耕起す。

收穫

收穫 順次蒔蒔の京菜菠菜藜草高苣塘蒿葱牛蒡並に橙金柑等を採收す。三椶楮等を刈り、諸種の林木を伐る。

雑事

雑事 温床及び苗地を準備す。炭を焼き種々の藁細工をなすこと前旬に同じ。蠶種果樹の接穂等の運搬は此時より

餘り遅れざるをよしとす。

○下旬

下種 煙草三重縣青刈豌豆を蒔く。温床内に胡瓜茄子を蒔き始む。

接木 桑の根接及び松の割接を行ふ。

移植 梅・櫻・杏・漆樹等を移植するによし。又温床に土當歸

野蜀葵等を植ゑて早作りとしてよし。

手入 秋蒔の豌豆蠶豆等を中耕し又少しく施肥す。紫雲

英に木灰・過燐酸石灰等を施せば有効なり。葡萄・梨・桃・苹果・櫻

桃等の剪定は此より後くるれば害あり。空地及び苗代田を

鋤く。

收穫 高苜蓿・菠薐草・韭菜・二年子大根等を收む。橙・金柑・三

下種 接木 移植 手入 收穫

極楮を收め終る。林木を伐採す。  
雑事 温床を作る。農具・種苗等を手落なく準備すべし。此頃より鶏を孵すに良し。

三 月

麥・油菜の中耕・肥培を行ふの外、下旬に至れば下種すべき作物多ければ、其苗床・作付地等をよく整理すべし。又諸種の防寒具を除き、これより漸く耕作期に入るものと心得べし。

○上旬

下種 煙草・三重及び滋賀縣を床に蒔く。茄子・胡瓜・南瓜・甜瓜・扁蒲等を普通の温床に蒔きてよし。高苜二十日大根等を

雑事 行事の大要

下種

移植	接木	手入	收穫	雑事
<p>蒔き始む。</p> <p>移植 櫻桃・杏・柿・桐・桑等は尙ほ移植してよし。紫雲英・苜蓿等を移植することあり。</p>	<p>接木 桑の根接を行ふ。</p>	<p>手入 油菜を摘心して土寄す。甘藍・花椰菜・玉葱・洋苜蓿・除虫菊等の中耕施肥を行ふ。紫雲英並に諸種の庭木などの寒よけ及雪よけを取除く。桑・茶の芽出肥を施す。花園を整地す。空畑は速かにすき起すべし。林木の苗を掘る。</p>	<p>收穫 葱・高苜蓿二年子・大根・金柑等を順次採收す。尙ほ薪炭用林木を伐りてよし。</p>	<p>雑事 雑を孵化せしむ。多忙にならざる前に道路・前庭等を修復すべし。炭を焼く。</p>

下種	接木及挿木	移植	手入
<p>○中旬</p> <p>下種 烟草の普通の下種期なり。蓼藍を苗床に蒔く。茄子・胡瓜・南瓜・甜瓜・越瓜・蕃椒・蕃茄等を普通の温床に蒔くべし。早生馬鈴薯・種甘藷を植う。夏大根・夏菜二十日大根・高苜蓿・豌豆等を蒔く。</p>	<p>接木 梨・桃・櫻・苹果・櫻桃等の殺接を行ふ。接きたるものは土中又は穴庫中に圍ひ置き月末頃に植出すをよしとす。梨・杏・葡萄・無花果等を挿木す。</p>	<p>移植 山林樹木を植出す。樟樹は根元より一二寸の處にて切りて定植すべし。</p>	<p>手入 麥類・油菜の土寄をなし止肥を施す。蘭・花椰菜・甘藍・豌豆・蠶豆・玉葱・洋苜蓿・除虫菊等の中耕施肥を行ふ。桑の結束を</p>

收穫	雑事	下種	接木	移植
解きて茶と同様に芽出肥を施す。花園を整地す。	雑事 蠶卵紙を貯藏所より取出すべし。家禽類を孵化せしむ。道路前庭水路畦畔等を修理すべし。	下種 蓼藍煙草甘藷甘藍花椰菜高苜蓿諸種の草花類等は通常の苗床に蒔く。胡瓜茄子蕃茄南瓜越瓜冬瓜扁蒲蕃椒等はなほ温床に蒔く。大麻茨豌豆青刈用大豆蓼紫蘇早生馬鈴薯山葵等を下種す。漆を此頃に蒔くことあり。	接木 桃梨櫻苹果李等を接ぐ。三椏梨無花果等を挿木す。	移植 温床内にて茄子瓜類の植かへをなす。蜜柑類を植

○下旬

手入	收穫	雑事	要行事の大
う。山林樹木を植出す。	收穫 欸冬の花蕾高苜二年子大根韭葱筍夏橙等を收む。	雑事 蠶種を取出す。家禽類を孵し、雛を育つ。水路畦畔を修築すべし。	本月より五月に涉りて下種すべき作物は頗る多種なれ

四月

ば、其作付地の整理其後の管理等を主なる業務とす。月末に至れば蠶も發生すべければ其準備を調へ、又稻粃の選別、浸漬等に意を用ふべし。

○上旬

下種 大麻、苘麻、春蕎麥、莢豌豆、牛蒡、蕃椒、紫蘇、青刈大豆等を蒔く。甘藍、花椰菜、高苜蓿、諸種の草花類、並に三桎樟樹、杉、松、扁栢、梧桐等の樹木は苗床に蒔く。甘藷の種藷を伏せるは此時より後るべからず。早生馬鈴薯、百合根、山葵を植う。茄子、胡瓜、南瓜、扁蒲、苦瓜、甜瓜、越瓜、絲瓜等は寒よけをなしたる苗床に蒔く。

接木 柑橘類を接ぐ。枇杷及び楊梅を挿木す。

移植 柑橘、樟樹等の潤葉の常緑樹を植付けてよし。松、杉

下種 接木 移植

手入

扁栢等の針葉樹は速に植付を終るべし。

手入 麥類、油菜、蠶豆の土寄を行ふ。油菜は程よく摘心を

行ふに利あり。秋蒔の花椰菜及び甘藍に施肥中耕す。豌豆に

支柱を立つ。蓼藍、煙草、草花類の間引を行ふ。温床、苗地の灌水、

病蟲害の防除、施肥等に注意すべし。苗代地を整ふ。

收穫 早生の花椰菜、欵冬の花蕾、高苜蓿二年子、大根、土筆菜、

筍、促成の野蜀葵、土當歸、夏橙等を收む。薪炭材の伐採を止む。

雑草 灌溉排水の水路、道路、畦畔等を修繕す。蠶室蠶具を

掃除消毒すべし。家禽の雛を育つるによろし。

○中旬

下種 甘藍、花椰菜、高苜蓿、諸種の草花類、樟樹、三桎、並に松、杉、扁栢等の針葉樹類を苗床に蒔く。薑、芋、百合、早生の馬鈴薯

下種

雑草

收穫

移植	手入	收穫	除病蟲害防
<p>等を植う。青刈大豆、菜豆、牛蒡、二十日大根、紫蘇等の外、南瓜、西瓜、扁蒲、甜瓜、越瓜、苦瓜、絲瓜等を直播となし、切藁を蔽ひ置く。</p> <p>移植 三椏、蜜柑類、並に諸種の常緑潤葉樹は枝葉を切縮めて移植すべし。</p>	<p>手入 速かに油菜及び麥類、蠶豆の土寄を終るべし。蓼藍、甘藍、花椰菜、夏菜、大根等を間引き、丁寧除草、施肥すべし。苗床をよく管理すべし。玉葱の根際の土を搔き除く。豌豆に支柱を立て、苗代をよく整地すべし。</p>	<p>收穫 花椰菜、高苜、二十日大根、間引菜、蓼山椒、筍、石刁柏、土筆、菜、夏橙等を收む。</p>	<p>病蟲害防 茄子、瓜類の苗床には硫黄華又は石灰粉などを撒布して、立枯病を豫防すべし。例年、梨、桃、李等の病害多</p>

雑事	下種	移植	手入
<p>き地にては開花中をさけ、其前後に二三回二斗式位のボルドー合劑を撒布すべし。</p> <p>雑事 蠶室、蠶具を掃除消毒し、又桑芽の發育を見計ひ、約二週間前より春蠶の催青に着手すべし。家禽の雛を育つるに、よし、農地の水路及び畦畔の修復を急ぐべし。</p>	<p>○下旬</p> <p>下種 夏蕎麥、菜豆、豇豆、落花生、玉蜀黍、青刈大豆、牛蒡、紫蘇、朝顔、並に牧草類を蒔きてよし。薑里芋、馬鈴薯、佛掌薯等を植う。尙ほ瓜類を直播してよろし。</p>	<p>移植 片側蒔きの麥作の間に、温床仕立の胡瓜、南瓜、西瓜等を植出してよし。</p>	<p>手入 苗代に灌水し、畔を塗り、施肥、代掻等を行ふ。藪田の</p>



除草施肥を行ふ。薑畑に糞を敷く。玉葱の施肥中耕を行ふ。甘藷苗床の寒覆を除く。常に注意して苗床の間引灌水除草等に從ふべし。

收穫

收穫 花椰菜、茼蒿、高苳、冬、蓼、石、栢、山椒等を收む。綠肥用の蠶豆を刈り始む。夏橙を收め終る。

病蟲害防

病蟲害防除 甘藍、花椰菜等の蚜蟲は煙草の煎汁又は石油乳剤にて殺すべし。瓜類の根元に灰、硫黄華等を撒布して立枯病を豫防すべし。

雑事

雑事 種粃は下種前に鹽水にて選み、三四日間水に浸すべし。鹽水の比重は普通に糯及び陸稻は一〇八乃至一〇一、二位とし、粃は一、一〇乃至一、一二位とす。引き續きて蠶の催青を行ふ。早きものは末日頃に發生す。

○四月十五日より十月十五日迄は法律によりて鳥類の捕殺を禁ぜられたり、されど農作物を害すること甚だしきものは府縣知事の許可を得て捕殺することを得べし。  
○此地方の沿岸一帯は本月より十一月迄鰹を漁る。三重、靜岡縣にては此上旬より九月末迄石花菜を採る。遠江、駿河の沿岸にては前年十月末に取り始めたる海苔の採集を終る。尙ほ此地方にては終年鱸の漁獲あり。

五月

要事の大

本月は稻及び其他の夏穀菽を蒔き、蠶を掃立て、茄子、瓜類を移植、肥培するなど重要なる仕事多し。家畜は飼料の變り行く頃なれば特に其點に注意すべし。

下種	移種	手入	收穫
<p>○上旬</p> <p>下種 苗代に稻粃を蒔く。夏蕎麥玉蜀黍蜀黍落花生菜豆豇豆棉葱塘蒿朝顔等を蒔く。馬鈴薯を植う。西瓜苦瓜扁蒲越瓜甜瓜絲瓜等の直蒔は早き方良し。</p>	<p>移種 蕃椒胡瓜南瓜西瓜扁蒲越瓜冬瓜等を定植す。胡瓜の外は麥の間作とするもの多し。蜜柑及び潤葉の常緑樹は枝葉を切縮めて移植してよし。</p>	<p>手入 麥藍牛蒡夏菜類を間引きて施肥すべし。苗代の灌水に注意すべし。但し時々水は落して田面に日を受けしむるを良とす。畑の苗床も始終よく管理すべし。薑畑に藁を敷く。春蒔の豌豆に支柱を立つ。水田に緑肥をすき込む。</p>	<p>收穫 甘藍花椰菜綠肥用蠶豆莢豌豆高苜蓿石刁柏欵</p>

病蟲害防除	雑事	下種	移種
<p>冬麥山椒二十日大根桑葉等を收む。早作りの胡瓜を採る。夏橙を收め終る。</p> <p>病蟲害防除 麥の黒穂はなるべく早く抜き去るべし。甘藍花椰菜の蚜蟲は煙草の煎汁又は石油乳劑にて驅除すべし。桑茶等の新芽が凍害にかゝるは此頃なり、よく天候に注意して豫防に勉むべし。</p>	<p>雑事 春蠶を掃立て、飼育す。家畜類を此頃分娩する様になし置けば生育甚良し。製茶の準備を整へ置くべし。</p>	<p>○中旬</p> <p>下種 陸稻を蒔く。棉は多く麥の作間に蒔く。此外玉蜀黍蜀黍小豆落花生菜豆豇豆塘蒿二十日大根等を蒔く。</p>	<p>移種 甘藷の蔓を挿す。麥藍高苜蓿胡瓜等を植う。蕃椒茄子。</p>

雑事	除病蟲害防	收穫	手入
なし置けば成育良し製茶の準備を調ふべし。	病蟲害防 ルドー合劑の二斗五升式位のものに注ぐべし。	收穫 甘藍、莢、豌豆、綠肥用の紫雲英、欸冬、蓼、石刁柏、早作りの胡瓜、桑葉等を收納す。漆液を掻き始む。	手入 蕃茄、南瓜、西瓜、甜瓜、越瓜、冬瓜等を定植すべき普通の季節なり。甘藍、花椰菜の一番假植を行ふ。
雑事 春蠶を飼育す。種々の家畜類を此頃分娩する様に		收穫 甘藍、莢、豌豆、綠肥用の紫雲英、欸冬、蓼、石刁柏、早作りの胡瓜、桑葉等を收納す。漆液を掻き始む。	手入 苗代に灌水す。麥の間作とせざる瓜類の芽を摘みて施肥す。胡瓜には支柱を立つべし。馬鈴薯と牛蒡とに施肥す。中耕を行ふ。薑畑に藁を敷く。水田には今の中に綠肥をすき込みてよく整地すべし。

收穫	手入	移植	下種
收穫 早生の油菜、甘藍、紫雲英、青刈大豆、豌豆、欸冬。二十日	手入 中耕を行ふ。苗代に灌水す。玉葱の葉元を捻り置けば成熟よろし。胡瓜に支柱を立つ。直播の瓜類は摘芽を怠るべからず。桃梨等の玉揃をなし、引續きて袋かけを行ふ。水田に綠肥をすき込みて整地すべし。	移植 節位に切りて植出すべし。茄子、蕃茄は四五葉となりし頃に定植す。瓜類をも植出す。	下種 高苜等を蒔く。
		移植 烟草、蓼、藍及び諸種の草花を定植す。甘藷の蔓は三節位に切りて植出すべし。茄子、蕃茄は四五葉となりし頃に定植す。瓜類をも植出す。	下種 陸稻、夏粟、黍、小豆、大豆、菜豆、豇豆、刀豆、鵲豆、胡麻、塘蒿

○下旬

病蟲害防

大根・苘蒿・高苳・桑葉・胡瓜・青梅等を收む。一番茶を摘み始む。漬菜・大根の種子を採る。漆液をかき始む。病蟲害防除——油菜に菌核病多き地方にては莖と刈株とを焼き棄つべし。胡瓜のベト病にはボルドー合劑を注ぐべし。

雑事

雑事——春蠶を飼育す。茶の製造を始む。麥の穗選を行ふ。○愛知縣の沿岸にては本月より十一月迄石花菜を採る。三重・愛知縣にては海苔の採收を終る。

六月

要行事の大

此月は稻を植え、春蠶を上簇せしめ、又梅雨に先ちて麥と油菜とを收めざるべからず。此外夏の穀菽類及び瓜類の

下種

下種——黍・粟・稗・大豆・小豆・胡麻・塘蒿等を蒔く。又桑を取蒔にす。

移植

移植——煙草・茄子・蕃茄・冬瓜等を定植す。草花類を花壇に植出してよし。

手入

手入——玉蜀黍・草棉の間引及び補植を行ふ。蓼藍及び蘭田・蓮田に施肥す。里芋・馬鈴薯・牛蒡・高苳等の施肥中耕をなす。茄子・瓜類の除草中耕をなし、又藁を敷く。玉葱の葉元を捻曲げて置けば成熟よろし。桃・梨等の玉揃へ及び袋掛を行ふ。桑の刈込は早き方よし。苗代の除草・灌水等に注意すべし。油菜・麥

肥培等甚だ多忙なれば、よく仕事の順序を誤らざる様に心掛くべし。

○上旬

收穫	除蟲害防	雜事	下種	移植
<p>等の收穫跡は速かに整地すべし。稻田を整地す。</p> <p><b>收穫</b>——早生の油菜、大麥、裸麥、青刈大豆、苜蓿等を刈る。甘藍、玉葱、高苜蓿、豌豆、夏菜、二十日大根、胡瓜等を收む。三椶、大根、漬菜等の種子を探る。桑葉、茶の新芽、梅、朱櫻等を摘採る。</p>	<p><b>病蟲害防除</b>——月の始めより苗代に點燈し、又葉の卵塊を取り、て螟蟲を驅除すべし。油菜に菌核病多き地方にては莖を燒棄つべし。馬鈴薯に疫病發生の徴あらばボルドー合劑を撒布すべし。</p>	<p><b>雜事</b>——春蠶上簇す。麥、油菜を乾燥す。茶を製造す。</p>	<p><b>下種</b>——粟、蕎麥、大豆を蒔く。櫻と桑とは取蒔きにする。</p>	<p><b>移植</b>——水稻を植ゑ、始む。秋冬を移植す。草花類を花壇に植</p>

○中旬

除蟲害防	收穫	手入
<p><b>病蟲害防除</b>——稻を植出す前に苗代に於て種々の害蟲を</p>	<p><b>收穫</b>——大麥、裸麥、小麥、油菜、蠶豆、春蕎麥等を收む。甘藷を取終る。茶の新芽、玉葱、高苜蓿、莢菜、豆、夏菜、胡瓜、洋莓、梅、櫻桃、朱櫻、杏、三椶の種子等を順次採收す。繭を搔取る。</p>	<p><b>手入</b>——水田の施肥、灌水及び代掻きを行ふ。陸稻の一番中耕並に施肥を行ふ。麥の間作としたる棉、蕃椒、瓜類は麥刈後速かに畦を立てかへて除草、施肥すべし。落花生、菜豆、鵲豆の中耕、施肥をなす。菜豆、鵲豆には支へを設く。瓜類は心を止め、莖を敷く。絲瓜に支柱を立て、夏蕎麥を中耕し、培土す。蓼、藍、薑の二番施肥を行ふ。桑を刈込みて中耕す。麥及び油菜の跡は速かに整地すべし。</p>

よく驅除すべし。浮塵子の發生多ければ石油を入れて拂落し、又網にて掬ひ取る。螟蟲の卵塊を採る。苗取りの際注意して稗苗を除くへし。

雑事 春蠶の上簇を終へ早きは繭を收む。麥及ひ油菜はよく乾燥して後調製すべし。茶を製造す。

○下旬

下種 粟、蕎麥、大豆、胡蘿蔔、桑、櫻等を蒔く。

移植 稻を植う。葱、欵冬を移植す。

手入 陸稻の一番中耕及び施肥を行ふ。粟、棉を間引く。麥の作間に植ゑたる作物は麥刈後速かによく除草して肥培すべし。夏蕎麥に培土す。落花生菜、豆、胡麻、煙草等に中耕施肥す。茄子と瓜類とに施肥し、茄子、蕃茄には支柱を設く。茶を刈

收穫

雑事

要行事の大

込みて施肥中耕す。水田の施肥、灌水、代掻き等は丁寧にする。花壇も始終手入すべし。

收穫 小麥、外國種大麥、晚生油菜、蠶豆等を收む。茶の新芽、胡瓜、早生茄子、玉葱、蒿苳、菜豆、夏菜、夏大根、洋苺、紅藍花、紫蘇、櫻桃、杏等を順次採収す。

雑事 麥、油菜を調製す。番茶を製造す。蠶種を造る。蠶室、蠶具の跡仕末をなす。

七月

本月は夏作物の主なる成育期なれば、田畑の灌水、除草、中耕等に勉むべし。又麥の調製、夏蠶の飼育、瓜類の收穫、手入等も重要な業務なり。

○上旬

下種 胡蘿蔔を蒔く。秋作馬鈴薯を植う。

移植 葱を定植す。

手入 水稻の一番除草及び追肥を行ふ。移植後十日乃至

二週間にして一番除草をなし其後は七日乃至十日を距て

都合四五回除草するを普通とす。煙草・蔘・藍に施肥し除草

及び培土をなす。落花生薑・芋・蓮・茄子・瓜類等に施肥す。甘藷

の蔓を返して除草す。茶を刈込みて施肥中耕す。稻田の灌水

に注意すべし。秋粟及胡蘿蔔畑を整地す。草花類の灌水摘心

等は不斷注意して行ふべし。

收穫 燕麥及び禾本科牧草を刈る。早生の馬鈴薯・豌豆・晚

生の玉葱・莢菜・豆・茄子・胡瓜・紫蘇・夏菜・夏大根・洋苺・櫻桃・李・無花

除病蟲害防

果等を順次採収す。茶の新芽を採る。夏蠶に與ふる桑は春季

摘葉せざるものより採る様にすべし。紫雲英の種子は網に

て掬ひ取るべし。

病蟲害防除 瓜蠅は朝露の乾かざる際に捕殺すべし。稻

の螟蟲被害の枯葉を取る。

雑草 麥・油菜を調製す。夏蠶を掃立て、飼育す。風穴に貯

ひ置たる蠶種は都合よき頃に取出して掃立つべし。番茶を

製造す。

○中旬

下種 秋粟・秋作馬鈴薯・胡蘿蔔等を蒔く。

移植 葱を植付く。

手入 水稻の蟹爪直し及び二番除草を行ふ。又適宜灌水

すべし。陸稻の除草中耕をなし、掛肥を施す。大豆、小豆、豇豆等の除草中耕をなし、少しく土寄せす。蓼藍の施肥土寄を行ふ。草棉を間引きて中耕施肥す。里芋、蕃椒、茄子等に施肥す。蕃茄を摘心す。甘藷の蔓を返す。茶の枝を刈込む。

**收穫** 燕麥、禾本科、牧草、蕎麥等を刈る。早生の馬鈴薯、晩生の玉葱、豌豆、莢菜、豆、鵲豆、茄子、蕺菜、夏大根、紫蘇、桑、早生の苹果、桃李、無花果等を收む。胡瓜を收め終る。

**病蟲害防除** 前旬に續きて稻の螟蟲被害葉をとる。煙草の青蟲と瓜蠅とは毎朝に捕殺すべし。落ちたる果物は種々の病蟲害を受けたるものなれば集めて焼くべし。

**雑事** 豌豆、蠶豆を調製して充分に乾燥すべし。夏蠶を飼育す。牛は此頃交尾せしむれば五月に分娩して成育よろし。

○下旬

**下種** 秋粟を蒔く。

**移植** 藺の刈跡には寄せ植をなし、置きたる稻を植えてよし。葱苗を定植す。

**手入** 水田の三番除草を行ふ。人造肥料は此頃追肥としてよし。藺の刈取跡は速かに整理すべし。大豆、小豆、豇豆、煙草等の中耕土寄をなす。茄子の二番中耕を行ひ、又時々施肥すべし。胡瓜の蔓を揚げ、跡地を整ふ。此頃より乾燥の模様によりて陸稻、甘藷、蓼藍、薑、芋、瓜類等には随時灌水すべし。

**收穫** 藺、大麻を刈る。早生の馬鈴薯、蕺菜、莢菜、豆、鵲豆、茄子、蕃茄、西瓜、南瓜、扁蒲、越瓜等を順次採取す。種取用の胡瓜、早生の桃、苹果、洋李等を摘採す。此頃材用の杉、扁栢等を伐採する。



ことあり。

除病蟲害防

病蟲害防除——瓜蠅及び煙草の青蟲は毎早朝に捕殺すべ

し。此頃畑に夜盜蟲の大發生をなすことあり未だ擴がらざる前に溝を穿ちて拒ぎ止むべし。

雑事

雑事——夏蠶上簇す繭を搔取るべし。繭を汚水にて染めてよく乾燥すべし。

八月

前月に續きて田畑の除草灌水を行ひ、果實瓜類を收納し、秋蒔の蕎麥蔬菜畑を準備する等を主要なる行事とす。

○上旬

移植

移植——塘蒿葱を定植す。

手入

手入——水田の最終除草を行ふ。陸稻は除草と共に土寄せをなす。粟胡蘿蔔を間引きて中耕施肥す。煙草草棉の心を止め土寄せを行ふ。大豆小豆に培す。甘藷を中耕して蔓を返す。乾燥に過ぐれば陸稻草棉甘藷薑等に隨時灌水すべし。梨桃苹果葡萄等の枝を曲げ又は其綠枝を剪定す。胡瓜の蔓を揚げて跡地を整ふ。

收穫

收穫——大麻蓼藍を刈る。煙草は心止めしたる後直ちに土葉を收む。茄子採種用のものも此頃採收す。蕃茄南瓜西瓜甜瓜越瓜扁蒲冬瓜青蕃椒葱採種用胡瓜桃中生苹果洋李等を順次採收す。此頃材用の杉扁栢等を伐採することあり。

除病蟲害防

病蟲害防除——浮塵子の發生に注意し蔓延の徴あらば速かに注油驅除を行ふべし。此頃より貯藏中の米麥等に種々

の害虫蕃殖するもの多ければ庫を密閉して百立方尺に付  
 二硫化炭素四五ポンドを入れて一晝夜間放置すべし。  
 雑事 夏蠶の繭を搔く。扁蒲を薄く剥きて乾燥す。

○中旬

下種 秋蕎麥を蒔き始む。

移植 洋莓塘蒿を定植す。

手入

水稲の最終除草を行ふ。陸稻及び大豆に土寄せす  
 べし。秋粟を間引きて中耕す。蓼藍は刈取後よく肥培すべし。  
 煙草草棉を摘心す。秋茄子を收めんとせばよく肥培すべし。  
 里芋秋作馬鈴薯に施肥培土す。茶桑畑等を除草す。此頃桃梨  
 苹果等の枝を曲げ又は緑枝を剪定す。種々の畑作物に灌水  
 すべし。漬菜大根類の作付地を準備す。林地の下草を刈る。

收穫

收穫 煙草(土葉) 蓼藍 苧麻 胡麻等を收む。八ツ頭芋葱茄子  
 蕃茄 南瓜 冬瓜 西瓜 扁蒲 甜瓜 越瓜 苦瓜 青蕃 椒 梨 晚生桃 苹果  
 葡萄等を順次採收す。盛夏の頃に搔取たる漆液は品質良好  
 なり。

病蟲害防除

病蟲害防除 常に水田の浮塵子發生に注意すべし。發生  
 多ければ注油驅除を行ふ。

雑事

雑事 夏蠶後の蠶室蠶具を掃除すべし。蕪網類は水洗し  
 て日光に曝すをよしとす。扁蒲を剥きて乾燥す。搔取たる煙  
 草も乾燥製造すべし。

○下旬

下種 秋蕎麥 大根 蕪菁等を蒔く。除蟲菊は苗床に蒔く。紫  
 雲英を稻の株間に撒播す。

下種

接木	移植	手入	收穫	除虫害防
接木 —— 末日頃に梨・桃・李等の芽接を行ふ。	移植 —— 洋苺を移植す。	手入 —— 稲の花水を要する頃なれば陸稻にも來月始め迄なるべく灌水すべし。刈取後の蓼藍を肥培す。煙草の傍芽を摘む。秋作馬鈴薯に施肥中耕す。草棉の除草土寄をなし、又摘心す。胡蘿蔔を間引く。桑・茶並に果樹園の除草を行ふ。秋蒔の蔬菜畑を整ふ。林地の下草を刈る。	收穫 —— 煙草(土葉)早生小豆、豇豆、胡麻、苧麻、茄子、蕃茄、西瓜、南瓜、冬瓜、苦瓜、扁蒲、越瓜、甜瓜、絲瓜、八ツ頭、芋、牛蒡、玉蜀黍の嫩穂、晩生桃、葡萄、梨等を收穫す。此頃搔取たる漆液は良質なり。種の用の瓜類を收む。牧草の二番刈を行ふ。	除虫害防 —— 稲の浮塵子、葉捲蟲等を驅除す。煙草甘藍等

接木	下種	要行事の大	雑事
接木 —— 桃・梨・苹果・李等の芽接を行ふ。	下種 —— 秋蕎麥・大根・蕪菁・漬菜等を蒔くべき普通の季節なり。稻の株間に紫雲英を撒播す。除虫菊・蒼蓬を苗床に蒔く。	要行事の大 —— 本月も瓜類を收め、大根・漬菜類を蒔くなどの仕事少からず。されば水田の水を落したる後はやゝ暇あれば畑の雑草の實らざる前に除き去り、其種子を翌年に残さざる様に勉むべし。	雑事 —— 煙草・扁蒲を乾燥す。 の青蟲を捕殺す。
<b>九月</b>			
○上旬			

移植	手入	收穫	雑事
移植——洎夫藍洋苺の新株を分植す。 手入——草棉に除草培土を行ふ。甘藍花椰菜等に施肥中耕 を行ふ。大根類の一番間引をなす。胡蘿蔔に施肥中耕す。桑茶 及び果樹園の除草中耕を行ひ。雑草等をすきこみてよし。秋 蒔菜園を整地す。林地の下草を刈る。 收穫——早生の小豆、大豆、麻、大豆の嫩莢、枝豆、煙草、牛蒡、葱 間引、菜玉、蜀黍の嫩穂、里芋、八ツ頭、芋、茄子、蕃茄、南瓜、冬瓜、扁蒲、越 瓜、甜瓜、絲瓜、葡萄、梨等を順次に採收す。牧草の二番刈を行ふ。 雑事——絲瓜は數日水に浸し、又は土中に埋め置きて皮を とりよく乾燥すべし。煙草及び牧草を乾かす。大豆、稻等を調 製するに用ゐる庭をよく修繕し置くべし。此頃は暴風の恐 れば用心すべし。			

下種	移植	手入
下種——漬菜及び晩生大根、高菜を蒔く。玉葱、早生の油菜、高 蒿、著蓮等は苗床に蒔く。此頃も尙落水後の水田に紫雲英を 撒播してよし。	移植——洎夫藍、洋苺を植う。酸漿を根分して移植す。根深葱 を作るには、此頃移植して次第に土寄をなすべし。	手入——速かに稻田の水を落すべし。大根、蕪菁、漬菜等を間 引く。子葉の充分に開きたる頃に一番間引を行ひ、爾後一週 間位を距て、三回位間引き、又二週間位を距て、最終の間 引を行ふ。胡蘿蔔、甘藍、花椰菜の施肥中耕を行ふ。葱及び塘蒿 に施肥し土寄をなす。甘藷の最終の蔓返しを行ひ、雑草多 ければ除き去るべし。草棉の除草、摘心を行ふ。果樹園を除草中

○中旬

收穫	除病蟲害防	雑事	下種
<p>耕す。瓜類の蔓を揚げて其跡を整地す。</p> <p><b>收穫</b> 煙草・棉・夏粟・早生小豆・豆・枝豆・茶の實等を採る。蔬菜用の甘藷・里芋・薑・玉蜀黍等を收む。茄子・間引菜・冬瓜・絲瓜・牛蒡・葱・梨・葡萄・無花果等を順次採收す。</p>	<p><b>病蟲害防除</b> 稻の枯穂及び稗を抜く。大根のサルハムシ・甘藍の青蟲を捕殺す。或は煙草の煎汁をふりかけるもよし。</p>	<p><b>雑事</b> 煙草・絲瓜を乾燥製造す。小豆・豆等を調製す。稻を扱き粃を乾燥する庭をよく修理し置くべし。</p>	<p><b>下種</b> 早生の油菜・甘藍・花椰菜・苜蓿・玉葱・薯蕷並に秋蒔の草花類を床蒔とす。京菜・菠薐草・高菜は直蒔とす。此頃紫雲英を畑に蒔くことあり。</p>

○下旬

移植	手入	收穫	除病蟲害防	雑事
<p><b>移植</b> 根深葱を作るには此頃植かへて土寄すべし。</p>	<p><b>手入</b> 秋蕎麥の中耕・土寄を行ふ。大根・漬菜・蕪菁類を間引く。塘蒿に施肥す。瓜類の蔓を揚げて跡を整地す。茶果樹園等の除草中耕を行ひ、雜草などを鋤込むべし。此頃より菊の摘芽に注意すべし。水田の畦畔の雜草を刈る。</p>	<p><b>收穫</b> 夏粟・黍・煙草・早生稻を刈取る。棉・蕃椒は成熟するに従て摘み採るべし。茄子・冬瓜・茶の實等を收め終る。生食用の薑・枝豆・葱・里芋・甘藷並に間引菜・絲瓜・無花果・早生甘柿・早生粟・五倍子・松茸等を收穫す。</p>	<p><b>除病蟲害防</b> 稻の枯穂及び稗を抜く。菊の心切蟲・大根蕪菁等のカブラバチを捕殺す。</p>	<p><b>雑事</b> 穀庫をよく掃除して乾燥すべし。穀象類の發生多</p>

ければ二硫化炭素にて殺すべし。  
○静岡縣にては四月に始めたる石花菜の採収を終る。

十月

本月は收穫すべき夏作物も種類多く、又跡地を整へて麥類を蒔き始むべく、蔬菜類の肥培も其勞少なからず。

○上旬

下種 油菜甘藍花椰菜玉葱蒼蓬蒿蒿及各種々の草花類は床蒔にするを普通とす。二年子大根高菜菠薐草牛蒡等は直播とす。

手入 秋蕎麥の中耕及び土寄を行ふ。大根漬菜蕪菁等の間引をなして、施肥中耕す。茄子瓜類を揚げて跡地を整ふ。枯

收穫

落たる莖葉は焼くをよしとす。塘蒿の第二施肥及び培土を行ふ。水田畦畔の雜草を刈取る。蜜柑類の枝支へを設く。菊の芽を摘む。麥作地を整ふ。

收穫 早生稻早生黍稗等を刈る。玉蜀黍小豆鵲豆菜豆棉輸出向の蕃椒絲瓜等は成熟につれて順次摘採す。玉蜀黍里芋牛蒡葱甘藷薑間引菜松茸晚生梨赤龍早生柿栗五倍子等を收穫す。茄子を收め終る。此頃より竹及び林木を伐採してよし。

除虫害防

病蟲害防除 大根蕪菁類のカブラバチサルハムシ等を捕殺すべし。果樹園の落葉は集めて焼棄つべし。

雜事

雜事 稻の穂選をなす。穀庫を掃除し置くべし。蕪繩俵等を取揃へ稻の收納の準備とすべし。

○中旬

下種 晩生の油菜高苜を苗床に蒔く。二年子大根を蒔く。  
 手入 油菜大根等を間引き塘蒿と共に三番肥を施す。蜜柑類の枝支へを設く。よく麥作地を整ふべし。果樹園の落葉は集めて焼くをよしとす。

收穫 早生稻陸稻粟黍蜀黍稗玉蜀黍小豆大豆刀豆菜豆棉蕃椒牛蒡葱里芋生食用薑絲瓜松茸早生柿栗五倍子等を收む。竹を伐る。材木を伐り始めてよし。

病蟲害防 麥は黑穗病の豫防として下種前に六時間冷水に浸し後華氏百三十度の温湯に五分間浸すべし。大根類のサルハムシ驅除を行ふべし。

雑事 麥類を苦鹽汁にて選る。其比重は大麥は略々粳稻

雑事

病蟲害防

收穫

手入 下種

と等しくし、小麥裸麥は一、二〇内外とすべし。炭焼を始む。稻の調製の準備をなすべし。

○下旬

下種 裸麥大麥豌豆二年子大根及び漆を蒔く。

移植 甘藍花椰菜高苜の第一假植を行ふ。

手入 油菜を間引く。大根蕪菁漬菜類に施肥す。葱に施肥し、又中耕と培土とを行ふ。麥作地を整ふ。伊豆地方の外は大抵此頃より蜜柑類に菰覆をなす。果樹園の落葉を集めて焼く。

收穫 陸稻水稻を刈る。粟黍玉蜀黍大豆小豆菜豆刀豆棉蕃椒絲瓜落花生馬鈴薯里芋佛掌薯生食用薑葱牛蒡柿栗間引菜等を收む。扁栢杉松梧桐漆樹檜櫟等の種實を採取す。此

收穫

手入

移植

下種

病蟲害防

頃より林木を伐る。病蟲害防除——前旬と等しく麥の種子の黒穂病豫防を行ふべし。

雑事

雑事——刈取たる稻は扱落す前によく乾燥すべし。麥類の選種を行ふ。棉・蕃椒を日に乾す。此頃よりする家畜の飼料の變化は急劇にすべからず。炭を焼き始む。

○本月十五日より法律の定めによつて農家に有益なる保護鳥の外は狩獵を許さる。

○三重・静岡・岡兩縣の沿岸にては此頃より來春四五月迄海苔を採取す。

十一月

行事の大

下種

移植

手入

收穫

前月に續きて種々の夏作を收め、又麥を蒔くべし。よく秋蒔の苗床を管理し、防寒の設備を整ふべし。

○上旬

下種——大麥・裸麥・小麥・蠶豆・豌豆等を蒔くべき最も普通の時期なり。此頃油菜を直播することあり。漆を蒔く。

移植——甘藍・花椰菜・高苜等を假植す。

手入——大根・漬菜類の最終間引を行ひて施肥す。塘蒿にも亦施肥して少しく培土す。油菜は間引きて少しく施肥すべし。此頃より竹林に厩肥・塵芥等を施してよし。伊豆地方の外は蜜柑類に薄き葦菰にて寒よけを設く。庭木類にも寒よけをなすべし。

收穫——晩生の水稻を刈り終る。黍粟を刈る。大豆・落花生・絲



雑事	下種	移植	手入	
瓜を收め終る。棉蕃椒馬鈴薯甘藷芋種用の薑胡蘿蔔牛蒡蓮根葱小蕪菁間引菜柿等を收納す。松扁栢杉檜櫟梧桐漆樹等の種實を採る。種々の林木を伐採す。	雑事 稻は扱き落さざる前にもよく乾燥すべし。炭焼を始む。俵繩等をよく準備すべし。棉蕃椒を陽乾す。	○中旬 下種 蠶豆を蒔く。油菜を直蒔とす。尙ほ大麥裸麥小麥等を蒔きてよし。檜櫟等は取蒔にす。	移植 甘藍花椰菜等の第二假植を行ふ。諸種の果樹類桑樹山林樹木等も此頃移植することあり。又麥を移植することあり。	手入 油菜を間引く。竹林に堆肥類を施こす。桑の枝を結

收穫	雑事	下種	移植	
束して根元の土を掘り上ぐ。根深葱は時々施肥培土すべし。紫雲英に稻藁粉殻等をふりかけて寒覆とす。	收穫 秋蕎麥貯藏用の甘藷里芋馬鈴薯種用薑等を收む。胡蘿蔔煮食用の大根蕪菁漬菜蓮根及び柿等を順次採收す。棉及び蕃椒は拔とりてよく乾かして後に摘採す。檜櫟樅等の種實を採る。漆液をかき終る。材木を伐る。	雑事 稻を乾燥して扱き落す。棉蕃椒を陽乾す。掘取たる根菜類は乾かして後に貯藏すべし。炭を焼く。	○下旬 下種 蠶豆檜櫟樅等を蒔く。	移植 甘藍花椰菜等の第二假植を行ふ。種々の果樹類山林樹木等は此頃植付くるもよし。麥を移植することあり。

手入	收穫	雑事
<p>手入 秋高苜蓿草高菜等に施肥中耕を行ふ根深葱を作るには培土を怠るべからず桑の枝を結束して中耕し根元の土を掘り上げ梨桃杏苹果等の剪定及び施肥を始めてよし松其他の庭木の剪込をなす棉木をぬきとるべし。</p>	<p>收穫 貯蔵用の馬鈴薯芋薑並に漆液等を收め終る秋蕎麥煮食用の大根蕪菁漬菜葱胡蘿蔔蓮根等を順次採收す。</p>	<p>雑事 稲を扱ぎ落しよく乾燥して粃摺りに着手すべし。蕃椒棉を陽乾す炭をやく。</p>

○三重愛知静岡の沿岸一帯にては早春に始めたる鱈漁を終る愛知縣にては石花菜も採收を終る。

十二月

行事の大	移植	手入	收穫
<p>前月に續きて大根漬菜類の外諸種の秋作を收め終り麥類の一番中耕を始め或は農地の土木工事を開始し屋内にては専ら稲を調製す其他諸般の冬仕度を調ふべし。</p>	<p>○上旬 移植 油菜の植付を始む諸種の落葉の果樹類を移植す。</p>	<p>手入 根深葱に土寄せす秋高苜蓿に中耕施肥をなす桃梨苹果等を剪定し竹林と同時に施肥を行ふてよし松其他の庭木を剪み込み又雪よけを設く菠薐草に粃殻或は切藁等をふりかけ置くべし藺田を整地す。</p>	<p>收穫 秋蕎麥製造用の薑葱胡蘿蔔蓮根蕪菁大根漬菜等</p>

を收納す。林木を伐る。  
 雑事 稲粃を調製す。寒さを防ぐ爲めに蜜蜂の窠箱を菰にて包む。

○中旬

移植 蘭、油菜、甘藍、花椰菜、玉葱等を定植す。又落葉の果樹類を移植してよし。

手入

大麥、裸麥の第一中耕及び施肥を行ふ。紫雲英、洋莓、除蟲菊、菠薐草等に切藁をふりかく。菠薐草に施肥中耕す。桃、梨、苹果、梅等の果樹を剪定し、又施肥してよし。松、其他の庭木類を切込み、又雪よけを設く。蘭田を整地す。

收穫

製造用の薑、蓮根、胡蘿蔔等を掘取る。順次に大根、漬菜、燕菁、葱を收む。林木を伐採す。

雑事

稲粃を摺落して俵装す。輸出向の薑は石灰を混ぜてよく乾燥す。炭を焼く。防寒の爲めに蜜蜂の窠箱を菰にて包む。暇あらば種々の藁仕事をなすべし。

○下旬

移植

蘭、甘藍、花椰菜、玉葱等を定植す。採種用の大根、漬菜、燕菁等を移植し、藁にて寒よけすべし。

手入

麥類及び油菜の中耕施肥を行ふ。菠薐草も中耕して施肥す。果樹類を剪定す。果樹、茶、桑、右、刀、栢、欵、冬等に施肥す。松、其他の庭木の剪み込を行ふ。

收穫

漬物用の大根、燕菁、漬菜並に塘蒿、高菜、蓮根、胡蘿蔔、葱等を收納す。三極の刈取を始む。樟の實を取る。山林樹木を伐る。

雜事 稻の糶摺り俵装をなす。輸出薑は石灰を混ぜてよく乾燥す。三榎を製造す。池溝の汚泥を浚ふ。炭を焼く。豚羊等を交尾せしむ。家の内外を掃除し、帳簿を整理して芽出度く新年を迎ふるの準備をなすべし。

○愛知縣地方にては此頃より五月迄海苔を採收す。

東海地方之部終

第五

關東地方

(但し甲斐を附加す)

○氣候概要

本地方のうち南東海岸の地たる千葉、神奈川、兩縣の一部分は其氣候よく東海地方に類似し、從て農作上の關係も亦その始終を等しくすること多し。

本地方は一般に冬季に於て空氣乾燥し夏季に於て甚だ濕潤なり。年平均氣溫は一般に十三四度にして、南東海岸の一部にありては十五度に達す。春季の平均氣溫は十度乃至十三度の地、其大部分を占め、冬季の月平均氣溫は零度を降る。

ことなく八月にありては二十五度以上なる。雨量は海岸に稍多く殊に秋季に於て然りとす。冬季は降雪ありと雖も積みて地を蔽ふことは年間僅に數回のみ暴風の害を蒙ること。は東北地方よりも多く春季の晩寒にも作物を害すること頗る多し。

今左に域内各地の平均気温及霜雪期節を掲ぐ。(各測候所創立以來明治三十八年までの平均數なり)

平均気温

平均気温

前橋	熊谷	宇都宮	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	年平均
二、五	二、六	〇、八	二、七	二、九	四、九	二、一〇	一五、四	一九、七	二二、九	二四、一	二〇、八	一四、五	八、〇	二、九	二、二
二、七	二、九	一、五	五、八	六、一	四、九	二、一〇	一五、四	一九、七	二二、九	二四、一	二〇、八	一四、五	八、〇	二、九	二、二
二、五	二、六	〇、八	二、七	二、九	四、九	二、一〇	一五、四	一九、七	二二、九	二四、一	二〇、八	一四、五	八、〇	二、九	二、二

霜雪の期

霜雪之期節

水戸	銚子	東京	横濱	横須賀	甲府
二、三	五、二	二、八	四、二	四、八	一、三
二、七	五、五	三、六	四、五	五、〇	二、三
五、六	八、五	六、八	七、四	七、六	六、六
一〇、八	一三、一	一〇、四	一三、五	一二、八	一一、五
一五、六	一六、六	一六、五	一七、一	一六、八	一六、七
一八、九	一九、八	二〇、五	二〇、五	二〇、五	二〇、九
二三、三	二二、九	二四、一	二三、八	二三、四	二四、一
二三、七	二四、七	二五、四	二五、四	二五、〇	二五、二
二〇、八	二二、七	二三、〇	二三、三	二三、一	二二、七
一五、〇	一七、九	一五、八	一六、六	一六、六	一五、〇
九、二	二二、九	一〇、一	一一、一	一一、八	九、〇
四、五	七、七	五、二	六、六	七、四	三、五
一一、六	一四、八	一三、八	一四、三	一四、五	一一、二

宇都宮	熊谷	前橋	水戸
平均	平均	平均	平均
十二月十日	十二月廿三日	十二月四日	十二月廿六日
最早	最早	最早	最早
三十七年十一月七日	三十七年十一月七日	三十七年十一月七日	三十九年十二月五日
平均	平均	平均	平均
三月十九日	三月廿四日	三月廿四日	三月廿一日
最晩	最晩	最晩	最晩
三十五年四月十日	三十七年四月十六日	三十七年四月十六日	三十七年三月廿八日
平均	平均	平均	平均
十月廿九日	十一月二日	十一月十日	十月廿一日
最早	最早	最早	最早
三十九年十月十二日	三十七年十月廿一日	三十七年十月廿一日	三十四年十月廿二日
平均	平均	平均	平均
四月廿九日	四月十七日	四月十二日	四月十四日
最晩	最晩	最晩	最晩
三十五年五月廿六日	三十五年五月十三日	三十五年五月十三日	三十五年五月十三日

銚子	一月十日	三十年十二月七日	三月七日	二十五年三月三十日	十一月廿日	三十年十二月二日	三十年四月廿三日
東京	十二月廿日	九年十二月廿日	三月十六日	三十五年四月十日	十一月十日	二十九年十月廿三日	三十五年五月十三日
横濱	十二月廿日	三十二年十一月廿日	三月十七日	三十五年四月十二日	十一月廿日	三十七年十一月廿日	三十五年四月十二日
横須賀	一月三日	三十七年十二月廿日	三月十六日	三十五年三月廿四日	十一月廿日	三十七年十一月廿日	三十五年四月十三日
甲府	十二月廿日	三十七年十一月廿日	三月十四日	三十五年三月廿四日	十一月廿日	三十七年十一月廿日	三十五年四月十三日

○關東地方(甲斐を含む)年中行事

一月

此月は時候寒冷にして温床の手入、漬菜類の收納等の外は、田畑の仕事少なければ、前年收穫物の調製、俵装をなし、其收支を明にし、帳簿を整理し、又農具を修繕し、苳繩草

行事の大要

鞋蠶簇等の雑具を作り、肥料を製造すべし。尙前年十二月に續きて耕地の改良事業、農事講習會の開設等に從ふべし。

○上旬

手入 麥類に中耕施肥を行ふ。甘藍、洋莓、除虫菊、苗等の防寒に、糠殻を散布してよし。桑、茶、桐、孟宗竹等の施肥、空畑の打起し、温床の管理等に從ふべし。

收穫 前年收納を了らざりし大根、蕪菁及び白菜、京菜等の漬菜類、塘蒿、葱、花椰菜、菠菜、草胡、蘿蔔、慈姑、蓮根等の收納。三

製造 苳繩草鞋、馬脊蠶簇等の苳細工品、酒、澱粉、紙、木炭並に堆積肥料の製造等。

雑事 稲の糶摺及び俵装、農具の修繕、種子の準備、温床の構成、菌の選別等。

○中旬

手入 麥類の鎮壓を行ふ。桑、茶、竹並に諸種の果樹、園樹等に施肥す。苗代田の稻株を起して寒に晒す。温床の構成及び管理、手入等。

收穫 三極及び薪炭用材木の伐採、葱漬菜、蓮根、慈姑、胡蘿、薔薇、葎草等の收納、蔵車前、葉山、慈姑等の掘取。

製造 前旬に倣ひ、諸種の蕈、細工品の製作、澱粉、酒精、木炭、紙類、堆積肥料等の製造に従ふべし。

雑事 稲の糶摺及び俵装、農具の修繕、種子の準備、澤庵大根の乾燥、慈姑の貯藏、菌の選別等。

○下旬

接木 梅の殺接を始む。

手入 温室内にては、菜豆を蒔き、胡瓜、茄子、蕃茄等に移植するなど、要務多し。管理に意を用ふべし。麥類は時々必要に

應じて鎮壓すべし。梅、桃、梨、葡萄、桐、茶等に寒肥を施す。苗代田の稻株を起す。温床軟化場を設け、土當歸、野蜀葵等を植う。

收穫 三極及び薪炭樹用材樹等の伐採、運搬、葱、蓮根、慈姑、薔薇、草、京菜等を收む。車前、葉山、慈姑、蔵等の根を掘取りてよし。

製造 前旬に倣ひて種々の蕈仕事をなし、又澱粉、切干、大根、木炭などを作るべし。

雑事 糶摺並に俵装を終るべし。菌を選別す。此頃蠶種を

洗ひ稻粃を選種するもよし、苗木種子蠶卵紙などを運搬する好期節なり。

二月

屋外の仕事は温床の手入、麥の鎮壓、果樹園樹の施肥等に過ぎざれば、尙家内にありて前月に終らざりし帳簿の整理、農事、家政の調査、藁仕事等をなすべし。其他種々製造のことに従ふべし。

○上旬

下種 茄子蕃茄胡瓜などを温床にまく。

接木 梅を殺接してよし。

手入 果樹園樹桐等に寒肥を施す。土當歸石刁柏款冬等

行事の大

下種

接木

手入

收穫

製造

雑事

にも堆肥を施すべし。麥を鎮壓す。苗代田の土塊を碎きて施肥し置くもよし。温床内には下種移植摘芽灌水等の要務多し。注意厚からんことを要す。

收穫 三椶薪炭材並に松杉等の針葉樹を伐採してよし。

慈姑蓮根を掘取る。京菜葱菠薐草枳殼の實を收む。促成の軟

化土當歸山椒野蜀葵などを取り始む。

製造 苧繩草鞋蠶簇等の藁細工品、切干大根、澱粉、木炭、堆

積肥料等の製造。

雑事 稻粃の調製を終るは大抵此頃なり。藁を選別し、農

具を修理し、果樹の接穂及び種苗を賣買運搬するによし。落

葉をかき集めて焼く。

○中旬



下種	接木	移植	手入	收穫
下種 枳殻を蒔く。温床内に茄子蕃茄胡瓜菜豆等をまく。	接木 梅の殺接を行ふ。薔薇及び無花果を挿木してよし。	移植 畑に仕立てたる紫雲英及び苜蓿の苗を水田に移植するは此時を可とす。諸種の果樹園樹漆樹等を移植してよし。	手入 麥類の施肥並に鎮壓。諸種の果樹の剪定及び施肥。欸冬土當歸石刁栢等に堆積肥料を施す。甘藷の苗床を準備す。果樹の砧木を掘り取り接木の準備をなす。苗代を整地す。温床の管理に従ふ。	收穫 菠薐草葱京菜慈姑枳殻の實軟化したる土當歸高苜蓿蜀葵等を收納す。此外温床にて促成せし菜豆胡瓜等を取る。三極の刈取を終る。松杉等の針葉樹薪炭用澗葉樹等の

製造	雑事	下種	接木	移植	手入
製造 概ね前旬に倣ふ。	雑事 藺の選別堆肥の積みかへ。農具の修理等。果樹の接穂並びに種苗の賣買運搬等をなしてよし。	下種 枳殻を蒔く。温床内に瓜類茄子菜豆等をまく。神奈川県にては此頃より寒よけをなして煙草をまく。	接木 梅の殺接無花果須具利の挿木。	移植 果樹園樹桑桐漆樹等を植付けてよし。漆樹は五年生の苗を植出すを普通とす。畑仕立の紫雲英及び苜蓿を水田に植う。	手入 大麥油菜に施肥し蠶豆豌豆と共に中耕す。麥類を

○下旬

病蟲害防除	收穫	製造	雑事
時々鎮壓すべし。但氣候土質によりて一定せざるも、冬中に三回位を普通とす。苜蓿紫雲英の覆物を除く。甘藷瓜類茄子等の苗床を作る。果樹を剪定して施肥す。切り棄てたる枝の中より接穂を選びて土中に貯ふべし。果樹の砧木を掘取る。温床の管理は周到なるべし。	收穫——葱、菠薐草、蒿、苜蓿を收む。促成の菜豆、豌豆、茄子、胡瓜等を採收す。薪炭材及び松杉等の針葉樹を伐る。	製造——前旬に倣ふ。	雑事——空地を打起す。種苗、蠶種、接穂等の運送によし。堆肥を切り返す。

時々鎮壓すべし。但氣候土質によりて一定せざるも、冬中に三回位を普通とす。苜蓿紫雲英の覆物を除く。甘藷瓜類茄子等の苗床を作る。果樹を剪定して施肥す。切り棄てたる枝の中より接穂を選びて土中に貯ふべし。果樹の砧木を掘取る。温床の管理は周到なるべし。

收穫——葱、菠薐草、蒿、苜蓿を收む。促成の菜豆、豌豆、茄子、胡瓜等を採收す。薪炭材及び松杉等の針葉樹を伐る。

製造——前旬に倣ふ。

雑事——空地を打起す。種苗、蠶種、接穂等の運送によし。堆肥を切り返す。

三月

行事の大要  
 麥類及び油菜に中耕施肥し、苗床を作り、又空畑を起して播種栽植の準備を調へ置くべし。

○上旬

下種——秋牛蒡、早生胡蘿蔔二十日大根、綠肥用大豆をまく。煙草帶色玉葱、茄子、胡瓜、蕃茄、越瓜、甜瓜等を苗床にまく。但し此後もなほ結霜多ければ十分の保護をなすべし。

移植——桃、梨、苹果、杏、李、櫻桃、柿等の果樹を植えかへ、漆樹、山櫻等を林地に植え出してよし。又温床内の瓜類を移植す。  
 手入——大麥、小麥、裸麥、燕麥、油菜、蠶豆、豌豆等の中耕並に施

收穫	雑事	下種
肥紫雲英苜蓿等の緑肥用作物に施肥してよし。甘藷其他の苗床を整地す。苗代に施肥し整地すべし。花園を整地して區劃を正す。菜園を打ち起すべし。果樹の砧木を掘り取り接穂を調へて接木の準備をなし置くべし。茶桑等に速効の芽出肥を施してよし。よく温床に手入すべし。	伐採を終る。扁柏杉等の針葉樹の間伐をなす。又促成の菜豆山椒豌豆胡瓜等を取る。	下種 甘藷烟草蓼藍玉葱甘藍花椰菜茄子蕃椒胡瓜南瓜
收穫 二年子大根野蜀葵土當歸欸冬等を收む。薪炭材の	雑事 農具及び種苗の準備をなし、園樹の雪折よけを除く。羊豚を交尾せしむ。	○中旬

收穫	手入	接木	移植
收穫 二年子大根高苳土當歸欸冬野蜀葵等を收む。早作	手入 大麥小麥裸麥油菜蠶豆豌豆等を中耕して施肥すべし。麥類の施肥は此頃より後くるは悪し。苗代苗床を整地す。普通の茄子胡瓜等の苗床は此頃作りてよし。花園蔬菜園等を整地す。桑茶等に芽出肥を施して効あり。	接木 桃梨苹果等の殺接を始めてよし。葡萄を挿木す。接木したるものは四月十日頃迄穴庫に入れ置くもよし。	移植 梨苹果桃櫻葡萄等を移植す。樅落葉松山毛櫸赤楊抱樹山櫻等を林地に植えてよし。茄子瓜類を温床内にて移植す。
越瓜甜瓜高苳等を苗床に蒔く。牛蒡早生馬鈴薯綠肥大豆等を下種してよし。香蓮里草其他の早蒔草花類をまく。			

りの茄子・胡瓜及び洋苺菜豆・豌豆を取る。薪炭材の伐採を終り、杉・扁栢等の間伐をなす。

雑事 落葉を集めて焼く。寒さ蔽ひを取る。水田の灌漑溝を修理すべし。雞の孵化を始む。羊・豚を交尾せしめてよし。

○下旬

下種 煙草をまくべき普通の期節なり。大麻・種々の禾本科及び荳科の牧草・綠肥用大豆・胡蘿蔔・豌豆等をまく。甘藷・蔘・藍・甘藍・花椰菜・葱・紫蘇・茄子・瓜類及び諸種の草花類は苗床にまく。蒟蒻・甘露子・早生馬鈴薯を植う。此頃漆樹の種を蒔くもよし。

移植 秋時の甘藍・花椰菜並に玉葱を定植す。樅・落葉松・山毛櫸・赤楊・山櫻等の植付けによし。

接木

接木 桃・梨・苹果・櫻杏・李等を接木す。葡萄・三極梨・桑等の取り木及び挿木によし。

手入

手入 蠶豆・油菜を中耕して培土す。豌豆に支柱を立て、少しく培土す。烟草・蔘・藍草花類を間引く。不斷温床の手入に注意すべし。苗床を整地すべし。

收穫

收穫 温床培養の茄子・胡瓜・蕃茄菜豆並びに土當歸・野蜀葵を收む。筍を掘る。扁栢・杉の疎伐を行ふ。

除病蟲害防

病蟲害防 桑の尺蠖及び苹果の巢蟲等を捕殺す。温床内の瓜類は青枯病に、茄子は立枯病にかゝり易ければ根元に硫黄華を散布し置くべし。

雑事

雑事 堆肥を切り返す。寒よけを除く。常緑樹は此頃舊き葉を落すもの多ければ集めて焼くをよしとす。灌漑水路を

修理すべし。

○本月より十月に至る迄は沿岸一帯に鱈鮑の漁盛なり。

四月

行事の大要

五月上旬に至らば下種すべき作物も一層多く、且蠶兒も發生すべければ、本月は種子の準備、其の豫措及び蠶の催青に注意すべく、又田畑は速かに整地すべし。

○上旬

下種 諸種の牧草・大豆・大麻・夏大根・二十日大根・落花生・洋種胡蘿蔔・塘蒿・紫蘇等を蒔く。葱・甘藍・花椰菜・燕甘藍及び瓜類は苗床にまく。馬鈴薯・甘露子・蒟蒻・百合を植う。松・杉・扁柏・榿落

移植

葉松・山毛榉・梧桐等を床蒔とするに最も良し、櫻欄を芽出蒔にす。

接木

好時期なり。寒よけをなして胡瓜を植出すもよし。

手入

等々を挿木してよし。

收穫

柱を立て、中耕し少しく培土す。草花類を間引く。寒覆を除く。苗床及び苗代を整ふ。

收穫 温床栽培の蔬菜類は可なりに生長せば順次採收

除病害防

すべし。高苜蓿、蒿、二年子大根、菠薐草、葱、筍、筆頭菜を收む。林木の伐採は此頃より後るべからず。

病蟲害防除——桃李等にボルドー合劑を散布す。桑の尺蠖

蟲を捕殺す。温床内の瓜類は立枯病にかゝり易ければ根元に硫黄華を散布し置くべし。

雑事

雑事——稻粃を取り出して選種す。水田の灌溉水路を修理すべし。蠶の種紙を取り出す。雞を孵化せしむ。

○中旬

下種

下種——夏蕎麥、枝豆、大豆、苹果、落花生馬鈴薯、牛蒡、里芋、佛掌薯、紫蘇、塘蒿、蒟蒻、百合、甘露子等を蒔く。甘藍、蕪菁、甘藍葱等は苗床にまく。茄子、胡瓜、南瓜、越瓜、甜瓜等を普通農家の簡單なる苗床に寒よけをしてまきてよし。赤楊、樟樹、高野、檜、胡桃、梧桐

移植

桐等を蒔くに最も良し。朝顔、百日草、鳳仙花等の草花類を蒔きて寒よけとして蕪菁などを蔽ひ置くべし。

移植——甘藍、花椰菜、玉葱葱等を移植す。柑橘類、三椏、松、杉、扁

栢、欖、檜、梧桐等を植えて出してよし。胡瓜及び南瓜は露地に植出すも可なれども寒よけをなし置くべし。

手入

手入——水田を耕し、苗代の土を碎き、少しく水を引きて畦畔塗りをなす。石刁栢、洋莓を除草して少しく施肥す。蓼、藍、煙草、茄子及び瓜類、塘蒿を間引きて施肥すべし。草花類を間引く。里芋、茄子、瓜類の植付地を整地す。

收穫

收穫——二年子大根、苜蓿、高苜蓿、筍、筆頭菜を收む。早作りの蔬菜は可なりに生長すれば速に採收する。方利益なり。軟化せしめたる石刁栢、野蜀葵等を收む。

病蟲害防除

病蟲害防除——茄子の立枯病を豫防するには根元に硫黄華木灰等を施すべし。

雑事

雑事——稻粃を取り出し鹽水選種を行ふべし。糯及び陸稻は一〇八乃至一〇〇、粳は一〇乃至一〇二位なる比重の鹽水を用ふるを普通とす。蠶種を取り出して催青に着手すべし。催青は大抵二週間にして桑の發芽の模様を観察して着手すべし。蕎麥落花生なども選種してまくべし。

○下旬

下種

下種——蘆粟玉蜀黍夏蕎麥落花生枝豆用の大豆菜豆鵲豆小燕菁牛蒡二十日大根塘蒿紫蘇等を蒔く。此末日頃に水稻をまきてよし。薑慈姑蒟蒻馬鈴薯を植う。茄子越瓜甜瓜南瓜苦瓜蕃椒等も最早普通苗床にまきてよし。

移植

移植——夏葱甘藍花椰菜を定植す。三椶及柑橘類を移植す。松杉扁栢等の針葉樹はなほ植付けて妨げなし。翠菊其他の草花類を移植すべし。大豆玉蜀黍等の蒔付地を整地す。

手入

手入——水田を耕し苗代に施肥し且つ整地す。玉葱及び除蟲菊に施肥す。蓼藍大麻を間引きて除草施肥す。百合洋苺を中耕して施肥すべし。夏大根小燕菁廿日大根等を間引きて後肥料を施す。草花類は注意して灌水施肥及び間引を怠るべからず。

收穫

收穫——豌豆二年子大根蓼蒿符筆頭菜等を收む。促成の茄子蕃茄胡瓜菜豆等を採收す。軟化したる土當歸石刁栢亞米利加防風野蜀葵を收穫す。

病蟲害防除

病蟲害防除——早生の麥は出穂を始むるがゆる其黑穗は

雑事

速かに取り去るべし。茄子、胡瓜、蕃茄等の根元に木灰、硫黄、華等を散布して立枯病を防ぐべし。葡萄の露菌、胡瓜のべト病には此頃、ボルドー合剤の二斗式位のものを散布すべし。

雑事——此月末に春蠶を掃立つる所あり、發生前の催青は特に乾燥せざる様注意すべし。稲粃は鹽水にて選別し、三四日間水に浸してまくべし。雞の孵化及び育雛によし、狩獵規則の定むる處によりて四月十六日より十月十四日迄は種の鳥類の捕獲を禁ぜられたれば注意すべし。

○神奈川縣にては本月より十一月頃迄、鰹を漁り、石花菜を採ること盛なり。此月にて海苔の採收を止む。

五月

行事の大

下種

移植

本月上旬は所謂八十八夜の節にして諸作物の下種期なり。又麥類の收穫を始め、春蠶を掃立飼育すべき時なれば注意して仕事の順序繰合せを誤らざる様にすべし。

○上旬

下種——稻を蒔くは大抵前月末より本月の五六日頃迄とす。蕎麥、玉蜀黍、蘆粟、蜀黍、大豆、小豆、菜豆、鵲豆、牛蒡、夏大根、二十日大根、薑、慈姑、蒟蒻、馬鈴薯、芋等を蒔く。茄子、胡瓜、越瓜、甜瓜、南瓜、冬瓜、絲瓜等を普通の苗床にまく。南瓜、絲瓜は直蒔とす。るもよし。

移植——夏葱、甘藍、花椰菜を移植す。麥作の間に茄子、南瓜、越瓜、甜瓜などを移植し始てよし。又柑橘、檉樟、樹椿等を移植してよし。翠菊、香蓮、里草、コスモス等を移植す。



手入	收穫	除蟲害防
<p>手入 大麻・蓼・藍の除草施肥。甘藍・夏大根・茄子・瓜類及び草花類を間引きて後施肥すべし。夏蕎麥・秋蒔甘藍・馬鈴薯・胡蘿蔔等を中耕施肥す。春蒔の豌豆に支柱を立つ。苗代に灌水。其他の手入を怠るべからず。花園を除草す。瓜類及び菜豆・大豆等の蒔付地を整理す。水田に緑肥をすき込むによし。藪田に施肥す。</p>	<p>收穫 豌豆・苜蓿・二年子大根・苜蓿・土當歸・石刁柏・水芹等を收む。早作りの茄子・胡瓜・蕃茄・菜豆等を採る。桑葉をつむ。檉樹等を伐採して皮を剥ぎ之よりタンニンを作るは此頃をよしとす。緑肥を刈る。</p>	<p>病蟲害防除 甘藍・花椰菜等の青蟲を捕殺す。麥の黑穗は速かに抜きとるべし。葡萄・胡瓜の露菌にはボルドー合劑を</p>

雑事	下種	移植
<p>撒布すべし。桑・茶等の凍害にかゝるは此頃なり。天候に注意して豫防の準備を調へ置くべし。</p> <p>雑事 春蠶の普通なる掃立期なり。鶏・家鴨を孵化育雛す。苗代の管理に注意すべし。</p>	<p>○中旬</p> <p>下種 玉蜀黍・蕎麥・落花生・菜豆・大豆・小豆・蜀黍・刀豆・鵲豆・豆等をまく。麥の作間に陸稻及び荏を蒔く。胡麻・西瓜・南瓜・越瓜・野蜀黍・二十日大根等を畑に直蒔す。里芋・蒟蒻を植う。</p>	<p>移植 甘藍・花椰菜・紫蘇を定植す。神奈川縣にては煙草を定植す。甘藷を植え出す。胡瓜・南瓜・越瓜・茄子等を麥の作間に植う。花卉類を花壇に植う。柑橘・椿・樟樹等の樹木を移植す。玉蜀黍を補植すべし。</p>

手入	收穫	除病蟲害防	雑事
<p>手入 甘藍、花椰菜、胡瓜、茄子、南瓜等に施肥す。瓜類は適宜摘芽すべし。馬鈴薯、夏大根二十日大根等は除草中耕して後施肥すべし。玉葱の根際の土を搔き除くべし。桃の實の一番間引を行ひてよし。苗代の管理は共同苗代となさば手数を省くによし。水田に紫雲英、大豆等の緑肥を翻き込むべし。</p>	<p>收穫 二年子大根、小燕菁、豌豆、苜蓿、石刁柏、亞米利加防風、茄子、胡瓜等を收む。桑葉及び茶の新芽を摘採す。紫雲英、苜蓿等の緑肥は花盛りを見て刈取るべし。檜、榊を伐採して皮を剥ぎタンニンを製するは此頃をよしとす。夏葱を取り始む。</p>	<p>病蟲害防 麥の黒穂は速かに抜きとるべし。胡瓜、葡萄にボルドー合劑を撒く。甘藍及び煙草の青虫を捕殺す。</p>	<p>雑事 蠶の飼育に十分の注意を拂ふべし。雞を育つるも</p>

手入	移植	下種
<p>手入 蓼藍に施肥す。苗代の管理に従ふ。夏蕎麥、馬鈴薯、夏大根を除草中耕して後施肥す。佛掌薯、鵲豆に支柱を立つ。瓜類を摘芽し、茄子と共に施肥す。桃の實の一番間引を行ふ。水</p>	<p>移植 蓼藍及び早蒔の煙草を定植す。甘藷の蔓を植う。蕃茄、蕃椒、甘藍、花椰菜、葱、南瓜、甜瓜、越瓜、扁蒲等を定植す。尚蜜柑、欖、樟、檜等を移植す。</p>	<p>下種 陸稻、黍、胡麻、荳、小豆、大豆等を蒔く。玉蜀黍の補ひ蒔きをなす。二十日大根、野蜀葵等は順次に蒔き置くべし。里芋を植う。</p>

同様なり。此頃豚、羊、牛、馬等の分娩する様になし置けば生育可良なり。

○下旬

收穫

田を整地す。玉葱の根元の土を搔く。

收穫——早生油菜を刈る。高苜蓿菜胡瓜茄子西洋胡蘿蔔石

刁栢夏大根二年子大根を收む。夏葱を收めてよし。豌豆紫蘇

桑葉茶の新芽等を摘む。紫雲英苜蓿等の緑肥及び荳科牧草

の一番刈取をなす。檜樹を伐りて皮よりタンニンを採る。漬

菜類の採種をなす。

病蟲害防除——油菜を刈りたる跡株を集めて焼くをよし

とす。麥の黒穂を抜く。苗床に螟蟲の採卵及び點燈を始む。豌豆

豆其他の夜盜蟲の驅除。果樹の蚜蟲を驅除す。

雜事——春蠶の飼育。茶の製造に従ふ。豫て牛豚羊等を此頃

分婉せしむる様になし置かば甚可なり。稻作肥料を購入す

るは此頃なり。不正肥料に注意すべし。

除病蟲害防

雜事

六月

行事の大要

本月は藪を收め、麥を刈り、稻を植え、田畑を除草するなど最も多忙なる期節にして、且最も重要なる時なれば、萬事に手落なき様最も勉勵すべし。

○上旬

下種

下種——蕎麥黍粟大豆小豆胡麻苧麻等をまく。二十日大根

高苜野蜀葵等をまく。桑及び櫻を苗床に實蒔す。蒟蒻を植う。

移植

移植——煙草の普通の定植期なり。早生水稻を挿す。春まき

の甘藍花椰菜葱等を移植す。茄子及び瓜類を定植するは一

日も早き方よし。

手入	收穫	除病蟲害防
<p>手入 陸稻落花生玉蜀黍甘露子の中耕をなす。此際追肥を施すもよし。菌に速効の肥料を施す。胡瓜越瓜南瓜茄子蕃椒等に施肥す。瓜類は適宜摘芽すべし。菜豆胡瓜絲瓜鵲豆に支柱を立つ。果樹園を除草す。水田の畦畔をぬる。苗代を管理す。根刈桑の切り込は早き方あり。</p>	<p>收穫 麥夏蕎麥油菜及び一番牧草の刈取。石刁柏甘藍夏葱夏大根夏小蕪豌豆桑葉茶の新芽等を收む。洋莓紫雲英の種子青梅櫻桃胡瓜茄子蕃茄蠶豆等を摘採す。漆液の採收を始む。但し餘りに早きはよろしからず。</p>	<p>病蟲害防 苗代に點燈して螟蟲の蛾を捕ふ。螟蟲卵を取。畑作物の夜盜蟲を捕殺す。馬鈴薯の疫病豫防としてボルドー合劑を撒布するは此頃なり。</p>

雜事

雜事 蠶を飼育す。大麥裸麥の穗選をなす。一番茶を製造す。刈取りたる油菜及び漬菜を乾燥す。新繭の走り出づ。

○中旬

下種	移植	手入	收穫
<p>下種 秋蕎麥粟時無大根桑櫻等を蒔く。</p>	<p>移植 水稻は本月二十日前後に挿秧するもの最も多し。</p>	<p>手入 玉蜀黍蕎麥大豆煙草麥藍夏葱の一番中耕並びに施肥。甘藷馬鈴薯牛蒡の除草中耕麥の間に植えたる南瓜茄子越瓜西瓜等は麥を刈りたる後直ちに壟を立てかへて除草施肥すべし。茄子菜豆豇豆鵲豆絲瓜に支柱を立つ。水田の代掻及び苗取り。根刈桑の切込は早き方よし。</p>	<p>收穫 晚生油菜裸麥大麥綠肥用大豆夏蕎麥等の刈取り。</p>

除病蟲害防	雜事	下種	移植
<p>洋苜蓿甘藍馬鈴薯豌豆蠶豆石刁柏桑葉茶の新芽夏葱胡瓜菜豆高苜蓿二十日大根等の採收梅櫻桃の摘採牧草の一番刈白玉葱を採り始む漆液の採收春蠶を收繭することあり。</p> <p><b>病蟲害防除</b>——苗代の浮塵子を驅除し、螟蟲卵を採集す。夜盗蟲及び煙草の青蟲を捕殺す。</p>	<p><b>雜事</b>——稻田の灌水に注意すべし。春蠶の飼育並に上簇麥油菜の乾燥等。</p>	<p><b>下種</b>——粟秋蕎麥櫻大豆等は速かに蒔き終るべし。又高苜二十日大根等を蒔く。</p>	<p><b>移植</b>——水稻の植付は早き方よし。床蒔し置きたる荏を移植す。草花類を花壇に植う。</p>

○下旬

除病蟲害防	收穫	手入
<p><b>病蟲害防除</b>——煙草の青蟲は時々畑を見廻りて捕殺すべし。</p>	<p><b>收穫</b>——小麦及び晩生大麥の刈取。豌豆蠶豆早生馬鈴薯甘藍玉葱紅藍花菜豆鵲豆紫蘇胡瓜二十日大根等の收納梅櫻桃洋苜蓿三極の種子桑葉茶の新芽等の摘採。漆液の搔取。春蠶の收繭。</p>	<p><b>手入</b>——陸稻麥藍黍煙草落花生里芋茄子薑牛蒡等を除草中耕して追肥すべし。馬鈴薯に培土す。麥の間に植え置きし茄子瓜類は麥刈後速かに壟を立てかへ除草施肥すべし。胡瓜茄子菜豆等には支柱を立て、扁蒲越瓜南瓜西瓜冬瓜等に摘芽して麥稈を敷く。梨桃の實を間引く。根刈桑の株定めは早き程よし。</p>

雑事 蠶を上簇收繭す。麥及び油菜を乾燥して調製す。蠶沙は速かに堆積し、又は水肥に混和すべし、其儘に放置すべからず。

七月

此月には瓜類の收穫、夏蠶の飼育等作業少なからざれども、中に就き田畑の除草及び灌水は最も肝要なり、農家は假りにも除草に追はれざるよう出精せざるべからず。

○上旬

下種 粟、秋作馬鈴薯二十日大根、高苳等を蒔く。尙晩生の大小豆を蒔き得べし。

雑事

行事の大要

下種

除病害防

收穫

手入

移植

移植 葱及び荏を移植す。  
 手入 陸稻、水稲、大豆、蜀黍、甘藷等を除草中耕して施肥すべし。粟、里芋、茄子、胡蘿蔔、南瓜、越瓜等も除草中耕す。瓜類の中耕は此頃にて終るべし。果樹園は時々除草すべし。煙草の二番中耕をなして少しく培土す。甘藷、瓜類に藁を敷く。西瓜、南瓜、甜瓜、扁蒲の摘芽並に稻田の灌水には常に注意すべし。梨、桃の間引を行ふ。  
 收穫 馬鈴薯、菜豆、玉葱、夏蕪、菁、夏大根、豌豆、鵲豆、茄子、胡瓜、高苳、夏葱、紫蘇等の採收。李、杏、櫻桃、洋莓、茶の芽等を摘採す。漆液を搔く。  
 除病害防 瓜蠅を捕殺す。早朝露の乾かざる前に捕殺し、又は酸漿に誘ひ集めて捕ふるもよし。螟蟲被害の稻莖を

拔く。煙草の青蟲を捕殺す。  
 雑事 麥油菜及び蠶豆等の乾燥並びに調製に従ふ。蠶種を製造す。蠶室蠶具の掃除をなす。

○中旬

下種 秋作馬鈴薯胡蘿蔔二十日大根を蒔く。

移植 葱の定植。

手入 水稲の蟹爪直し。玉蜀黍を除草して培土す。陸稻藍落花生甘藍花椰菜等を施肥中耕す。蕃椒牛蒡里芋葱を中耕肥培す。甘藷の蔓返しをなす。此頃より乾燥に過ぐるときは蓼藍南瓜扁蒲甘藷等に適宜灌水すべし。稻田の灌水に注意すべし。果樹園を除草し。桃梨等は適宜緑枝剪定を行ふ。  
 收穫 蕎麥馬鈴薯玉葱甘藍菜豆鵲豆茄子胡瓜蕃茄夏大

雑事 下種 移植 手入 收穫

根高苳夏葱紫蘇等の收納。李杏の摘採。漆液を掻き取る。  
 病蟲害防除 瓜蠅及び煙草の青蟲の捕殺。

雑事 麥油菜豌豆等を調製俵装す。

○下旬

下種 胡蘿蔔秋作馬鈴薯を下種す。最早菠薐草を蒔くもよし。

移植 藺作地跡に稻を挿すべし。葱韭を定植す。

手入 水田の二番除草。粟の間引並に中耕。陸稻里芋薑等の中耕。茄子の施肥。瓜類の摘芽。摘花等の手入に心掛くべし。始めて甘藷の蔓を返す。果樹園の除草並に緑枝剪定を行ふ。水田に灌水するも除草の際一二日は水を浅くして土地を暖むるをよしとす。

雑事 除病蟲害防 下種 移植 手入

收穫 除病蟲害防 雜事

收穫 藷を刈る。大麻を收む。茄子・胡瓜・越瓜・蕃茄・菜豆・豇豆・鵲豆・百合・夏葱・夏大根・馬鈴薯・高苣蕒・荷・紫蘇・李・早生桃等を取  
 る。漆液を採收す。

病蟲害防 浮塵子の發生あらば注油驅除を行ふべし。  
 煙草の青蟲を捕殺す。此頃桃梨等の種々の病蟲害にかゝり  
 て落果するものあり、これ等は速かに集めて焼くか、又は深  
 く土中に埋むべし。

雜事 つめくさ・苜蓿などの種子の採集並に調製。蠶室蠶  
 具の洗滌及び片づけ。藷の乾燥等。

八月

要行事の大

前月に續きて田畑果樹園等を除草し、豆・菽・瓜類を收納し。  
 後地に秋蒔の蔬菜類・草花などを下種してよし。尙牧草雜  
 草を刈りてよく乾燥すべし。

○上旬

下種 蕎麥二十日大根・葉胡蘿蔔・秋作馬鈴薯・菠薐草等を  
 蒔く。

移植 速かに藷作跡に稻を植うべし。

手入

手入 水田の三番除草。粟の間引並びに中耕をなす。陸稻  
 馬鈴薯・葱・洋莓・胡蘿蔔等を除草中耕す。煙草の心止めをなす。  
 里芋の孫芽をかく。甘藷の蔓返し。果樹園を除草す。乾燥に過  
 ぐれば南瓜・扁蒲・茄子・甘藷・煙草・陸稻等に適宜灌水すべし。藷  
 作跡地及び大根・漬菜類の蒔付地等を整地すべし。山野の雜



草を刈る。

收穫——蕎麥・大麻・蘭・牧草の刈取。蓼藍の一番刈り。神奈川縣

にては煙草を心止めして直ちに土葉を採收す。菜豆・豇豆・刀

豆・茄子・採種の胡瓜・甜瓜・苦瓜・越瓜・扁蒲・南瓜・葱・夏大根等を

收む。蔬菜用の玉蜀黍・枝豆等を取り始む。つめくさ類を採種

す。此月より來月にかけて搔きとる漆液は品質最もよろし。皮

を剥ぎて用ふる檜櫟等を伐採す。李・桃・早生梨・苹果等を採取

す。

病蟲害防

病蟲害防除——常に稻田の害蟲に注意し浮塵子の發生あ

らば注油驅除をなし、螟蟲被害の枯莖は見當り次第ぬきと

るべし。果樹園の落果は集めて焼くを安全とす。

雑事

雑事——牧草及び雜草を乾燥す。刈取りたる藁は粘土液に

浸して後よく日に乾すべし。大麻を製造す。

○中旬

下種

下種——蕎麥・早生大根・燕薺・夏牛蒡・除虫菊・菠薐草・葉胡蘿蔔

移植

を蒔く。

移植——洋苺及び春蒔きの葱を移植す。

手入——水田の四番除草。之れにて終りとすることあり尙

一度素手にて除草することあり。陸稻・粟・蕎麥・落花生・慈姑・言

藍の除草。中耕をなす。茄子に施肥す。煙草の心を摘む。果樹園

及び花園を除草す。甘藷の蔓を返す。胡瓜を揚げて跡地を整

理す。林地の下草を刈る。大根・漬菜類の蒔付地を整地す。乾燥

に過ぐれば陸稻・甘藍・甘藷等に灌水す。花卉類は一日二回宛

灌水を要するものあり。

收穫	病蟲害防除	雜事	下種
<p><b>收穫</b>——蕎麥・麥・藍を刈る。馬鈴薯を掘る。蔬菜用の玉蜀黍を 取りてよし。菜豆・刀豆・豆・豆枝・西瓜・茄子・蕃茄・南瓜・越瓜・甜瓜・ 扁蒲・ボンキン・探種用の胡瓜・苦瓜等を收む。神奈川縣にては 煙草の土葉及び中葉を摘採す。埼玉縣の二合半にては極早 生の稻を收む。苹果・早生梨・中生桃を收む。漆液を掻き取る。皮 を剥ぎて用ふる。檜・榊の材を伐採す。</p>	<p><b>病蟲害防除</b>——稻の害蟲に注意すべし。煙草の青蟲・瓜類の 瓜蠅を捕殺す。</p>	<p><b>雜事</b>——干瓢を製造す。秋蠶を掃立て、飼育す。牧草及び藺 を乾燥す。大麻を製造す。</p>	<p><b>下種</b>——蕎麥・大根・漬菜・蕪菁・除蟲菊を蒔くに最も良し。菠薐</p>

○下旬

移植	接木	手入	收穫
<p><b>移植</b>——洋苺と春蒔きの葱とを移植す。</p>	<p><b>接木</b>——桃・梨・苹果等の芽接をなしてよし。</p>	<p><b>手入</b>——水田の最終除草をなす。晩まきの蕎麥・葱・茄子に施 肥中耕す。麥・藍の一番刈をなしたる後は速かに除草施肥す。 べし。蕪菁・大根・胡蘿蔔等を間引きて施肥す。落花生を中耕す。 甘藷の蔓を返す。慈姑の横根を切りて後に施肥す。胡瓜を揚 げて跡地を整ふ。林地の下草を刈る。蔬菜園の空地を打ち起 す。乾燥に過ぐれば陸稻・甘藷・蔬菜・花卉等に水を與ふべし。果 樹園をよく除草すべし。</p>	<p><b>收穫</b>——蕎麥・黍・牧草(二番刈)を刈る。煙草の中葉を取る。甘露 子・馬鈴薯・蔬菜用の甘藷を掘る。南瓜・甜瓜・越瓜・西瓜・ボンキン。</p>

草・夏牛蒡を蒔く。

病蟲害防

雑事

扁蒲苦瓜菜豆豇豆刀豆枝豆小豆胡麻間引菜等を收む。埼玉縣の二合半にては早生稻を刈取る。苹果梨桃葡萄等を收む。皮を剥ぎて用ふる檜櫨の材を伐る。草花類には此頃採種するもの多し。漆液を搔く。

**病蟲害防**——稻の枯莖を抜く。麥の種子に黒穗病の豫防を行ふ(冷水温湯浸法最も有効なり)。

**雑事**——秋蠶を飼育す。藪を乾燥選別す。干瓢を製造す。

九月

要行事の大

漬菜油菜をまき。稻田の水を落とし、刈取の準備を調ふべし。多くの雑草も結實する時なれば其種實の散亂せざる中

によく除き去ることを怠るべからず。

○上旬

**下種**——油菜晩生の漬菜類大根蕪菁牛蒡菠薐草除蟲菊等をまく。苜蓿紫雲英等を畑に條播す。紫雲英は直ちに稻株間に撒播するもの多し。

**移植**——洋莓を移植す。

**接木**——桃梨苹果枇杷等の芽接をなす。

**手入**——蕎麥甘藍菠薐草胡蘿蔔等に施肥中耕す。葱に施肥培土す。大根蕪菁漬菜類を間引きて施肥すべし。秋茄子を收めんとせば少しく枝を剪定してよく肥培すべし。油菜の苗床を整地す。陸稻の穂選をなすべし。水田の水を落とし、稗を抜く。瓜類を揚げ其蔓を焼く。

下種  
移植  
接木  
手入

收穫	除病蟲害防	雜事	下種
<p>收穫 蕎麥大豆小豆豇豆菜豆刀豆玉蜀黍胡麻を收む。甘藷茄子南瓜西瓜甜瓜越瓜扁蒲蕃茄蕃椒薑蕪荷間引菜甘露子等を順次採收す。煙草の中葉を收む。神奈川縣にては本葉をも取る。牧草の二番刈をなす。梨葡萄總須具利を摘採す。漆液を取る。</p>	<p>病蟲害防除 稻の枯穂をぬく。瓜類の莖葉は燒棄つべし。黑穂病の豫防として麥の種子に冷水温湯浸法を行ふ。</p>	<p>雜事 秋蠶の飼育並びに上簇干瓢を製造す。豆類を調製す。煙草を乾燥製造す。</p>	<p>下種 晩生漬菜高菜高苜牛蒡菠稜草等を蒔く。油菜及び甘藍花椰菜玉葱を床蒔とす。紫雲英を水を落したる水田に</p>

○中旬

收穫	除病蟲害防	手入	移植
<p>收穫 黍大豆玉蜀黍稗粟等を刈る。煙草麥藍を收む。甘藍子持甘藍茄子里芋甘藷扁蒲蕃茄絲瓜間引菜葉胡蘿蔔蒟蒻蕃椒等を採る。梨葡萄を摘採す。落葉松の毬實は濃紫色を呈して、未だ口を開かざる頃に採集すべし。漆液をとる。</p>	<p>病蟲害防除 稻の枯穂を抜く。麥の種子に黑穂の豫防法</p>	<p>手入 蕎麥を中耕す。甘藍花椰菜に施肥中耕を行ふ。大根燕菁漬菜類胡蘿蔔等を間引きて中耕施肥す。早生水稻及び陸稻の穂選をなす。瓜類の蔓を揚げて跡地を整ふ。果樹園を除草中耕す。水田畦畔の雜草を刈り稗を抜く。林地の下草を刈る。油菜及び蘭の苗床を整ふ。</p>	<p>移植 洋莓泊夫藍春葱秋冬採種用の甘藍を移植す。</p>

を行ふべし。

雑事 秋蠶の飼育並びに上簇煙草を乾燥す。干瓢を製造す。

大豆・粟・稗等を乾燥して調製す。

○神奈川縣にては此頃海苔を發生せしむる基として粗朶を海中に入る之を立入れと云ふ。

○下旬

下種 油菜・甘藍・花椰菜・玉葱・高苜蓿等を苗床にまく。牛蒡

京菜・菠菜・草高菜・秋蒔き草・花類・胡桃等を蒔きてよし。尙紫雲

英を水田に撒播す。又苜蓿・紫雲英を畑蒔きとなし置き早春

移植するもよし。

移植 洋苺を株分して移植す。葱・泊夫藍を移植す。

手入 晩蒔の蕎麥を中耕す。秋作の馬鈴薯・胡蘿蔔等に施

肥中耕す。油菜・大根・漬菜・蕪菁等を間引きて施肥す。粟及び稲の穂選を行ふ。蓼・藍・茄子・南瓜・西瓜・甜瓜等を揚げて跡地をよく整地す。畦畔の草を削り、稻田の稗をぬく。麥類の作付地を整ふ。

收穫 早生水稲及び陸稻・粟・黍・蕎麥・藍等を刈る。大豆・小

豆・胡麻・玉蜀黍等を收む。甘藷・里芋・甘藍・苜蓿・秋葱・百合・蕃椒・薑

絲瓜・間引菜・葉胡蘿蔔等を順次採收す。扁蒲・茄子・南瓜・冬瓜等

を收め終る。梨・葡萄・早生柿を摘取す。漆液を搔く。胡桃・落葉松

の毬實等をとる。

病蟲害防除 麥の種子に黒穂の豫防法を行ふ。

雑事 煙草を乾燥す。干瓢・絲瓜を製造す。大豆・粟・黍等を乾

燥調製す。來月に入らば稲を刈るゆゑ、その準備を調へ置く

病蟲害防除 雑事

收穫

べし。

十月

本月には稲粟蕎麥其他多くの夏作物を收め、後地は速かに整地して麥をまくべし。漬菜大根類の肥培を怠るべからず。

○上旬

行事の大	下種	移植	手入
蠶豆・綠肥・豌豆・京菜・菠菜・草・亞米・利加防風・二年子大根・芥菜等を蒔く。甘藍・夏葱・玉葱・高蒿・高苜等は苗床に蒔く。	蘭苗及び百合を移植す。	大根・漬菜・蕪菁類を間引きて一本宛となし、施肥中	

耕すべし。油菜二年子大根・甘藍等を間引く。竹藪に施肥す。瓜類の跡地を整地す。雜草を焼く。稻の穂を選び稗をぬきとるべし。麥畑を整地す。

收穫

收穫 粟・玉蜀黍・蜀黍・大豆・小豆・薏苡・早生稻・牧草等を刈る。早生甘藍・秋茄子・絲瓜・落花生葱・蕃椒・間引菜・葉胡蘿蔔等を收む。貯藏用の甘藷・里芋・馬鈴薯・薑を掘り取る。葡萄・早生の柿及び栗・胡桃・石刁柏の種子等を取る。落葉松・扁柏・杉等の種實を收む。漆液を搔く。

病蟲害防

病蟲害防除 麥類の種子は選種と共に麥奴豫防を行ふ。圃上の枯葉・雜草等は焼き棄つるを可とす。

雜事

雜事 麥の種子を選る。煙草・絲瓜を乾燥す。雞を孵化せしむ。家畜の飼料變遷期なれば一層食物に注意すべし。

下種	移植	手入	收穫	除病蟲害防
<p>○中旬</p> <p>下種 裸麥・大麥・小麥・豌豆・蠶豆・二年子・大根・高苜・亞米利加 防風等を蒔く。甘藍・除蟲菊・石刁柏等は床蒔とす。</p>	<p>移植 百合・菠薐草・京菜等を移植す。</p>	<p>手入 油菜二年子・大根の間引及び施肥。絲瓜をあげて跡地を整地す。竹林に施肥す。麥畑を整ふ。雜草をやく。速かに稻作跡を起して麥畑とすべし。</p>	<p>收穫 中生稻・蘆粟・蕎麥・粟・玉蜀黍・禾本科牧草の種子等を收む。貯藏用の甘藷・里芋・馬鈴薯・落花生・百合・薑を掘る。甘藍・高苜・絲瓜・燕菁・早生大根・漬菜・葉胡蘿蔔・蕃椒・葱を順次收穫す。漆液を取る。</p>	<p>病蟲害防 麥の種子に麥奴豫防を行ふ。漬菜・大根・燕菁</p>

雜事	下種	移植	手入	收穫
<p>等の燕蜂の幼蟲及びサルハムシを捕殺す。</p> <p>雜事 稻を乾燥す。蕎麥・粟・黍を調製す。煙草・絲瓜を製造す。羊豚等を交尾せしめてよし。蘆粟より製糖す。麥を選種す。</p>	<p>○下旬</p> <p>下種 裸麥・大麥・小麥・燕麥・二年子・大根・蠶豆・豌豆等を蒔く。亞米利加・防風・石刁柏・苜蓿を蒔くもよし。漆樹を取蒔とす。</p>	<p>移植 甘藍・花椰菜等の第一假植を行ふ。菠薐草と溫床作の洋苺を移植す。</p>	<p>手入 油菜・晚種・漬菜・高菜・芥菜の間引きて施肥す。大根・漬菜に施肥して少しく培土す。絲瓜を揚げて跡地を整ふ。竹林に施肥す。稻作跡を起して麥を蒔きてよし。</p>	<p>收穫 晚生稻を刈る。稻刈は此頃最も忙はし。蕎麥・蘆粟・落</p>

病蟲害防

花生・秋作馬鈴薯貯藏すべき甘藷・佛掌薯・里芋・蒟蒻・百合・絲瓜  
禾本科牧草の種子等を收穫す。早生大根・漬菜・葱・甘藍・小蕪・菁  
蕃椒等を順次採收す。柿・梧桐・栗・漆樹・赤楊の種子及び松・杉・扁  
栢の毬實を取る。なほ漆液を搔き取る。  
病蟲害防除——漬菜大根類のサルハムシ及び蕪蜂を捕殺  
すべし。

雑事

雑事——稻粟蕎麥等を乾燥して扱ぎ落す。絲瓜落花生など  
をよく乾燥すべし。此頃羊豚を交尾せしむれば春季分娩し  
てよし。

○狩獵規則によりて十月十五日よりは終年の禁止鳥の外  
は種々の鳥類の捕獲を許されたり。四月頃より取り居たる  
鰻・鯉等の漁獲を止む。下旬より海苔の採收を始む。

行事の大

十一月

諸種の夏作物及び漬菜類を收め上旬には、なほ麥を蒔く。  
又防寒の手当をなし樹木を移植施肥してよし。

○上旬

下種——大麥・小麥・裸麥等はなるべく早く蒔くべし。豌豆・蠶

豆・細根大根及び漆樹の種子を蒔く。

移植——除蟲菊を移植す。甘藍・花椰菜等の第一假植を行ふ。

京菜・高菜を移植するもよし。

手入——油菜二年子大根・細根大根を間引く。竹林に施肥す。

防寒の設備をなすべし。花園及び蔬菜園の片づけをなす。空



收穫	雜事	下種	移植	手入	
畑はなるべく早く打起して越冬せしむべし。温床を準備す。	收穫 晚稻禾本科牧草の種子。蕎麥。甘藷。薑。落花生。蒟蒻。蕃椒。百合。芋等を收め終る。甘藍。大根。漬菜類。蕪菁。葱。胡蘿蔔。慈姑。塘蒿等を順次採收す。漆樹。梧桐。赤楊。松。杉。扁栢等の種子を取る。漆液をかき終る。柿栗を取る。	雜事 稻の乾燥及び扱落し。落花生。蕃椒の乾燥等。	○中旬 下種 なたほ。裸麥。小麥をまくもよし。豌豆。蠶豆。樟樹。栗。檜。扁栢等は此頃に蒔くを可とす。	移植 甘藍。花椰菜を假植す。油菜を定植す。	手入 菠薐草を間引く。二年子。大根。細根。大根に施肥。中耕す。防寒の設備をなすべし。果樹園。茶。桑畑を中耕す。花園。蔬菜

收穫	雜事	下種	移植	手入	
園を片づけて空地を打起すべし。温床の準備をなす。	收穫 甘藷。里芋。蕃椒。甘藍。漆液等を收め終る。胡蘿蔔。大根。蕪菁。漬菜類を順次採收す。柿。檜。檜等の実を收む。	雜事 稻を調製す。馬鈴薯。甘藷。薑。里芋等を貯藏す。	○下旬 下種 栗。檜。扁栢。檜等を蒔く。温床内に胡瓜。茄子。蕃茄などを蒔く。	移植 此頃麥を移植することあり。蕎麥を植え始めてよし。	油菜。洋苺。菠薐草を植う。
手入 菠薐草を間引く。京菜に施肥す。紫雲英。苜蓿の上に藁などを撒らして防寒す。果樹を剪定す。園樹に雪折よけの爲め枝さへを設く。空畑をすく。温床を作る。果樹園。茶。桑畑					

を中耕す。此時根刈桑を結束す。

收穫 葱、胡蘿蔔、牛蒡、慈姑、大根、漬物用のものも收む。燕菁、

漬菜類を採る。樅、梅の毬實を收む。薪炭材を伐り始めてよし。

雑事 稲の調製及び俵装をなす。漬物用大根を乾燥す。此

頃より炭焼を始む。

○鮑及び石花菜の採收を止む。

十二月

稲を調製俵装し、漬菜、大根類を收む。其他諸事の取片づけ  
と共に帳簿を整理すべし。又此頃より種々土地改良の工  
事を始めてよし。

○上旬

下種 温床内に胡瓜、蕃茄、茄子等を蒔き始む。

移植 蘭、豌豆、油菜を定植す。温床内に洋苺、胡瓜を移植す。

手入 早まきの裸麥、大麥、小麥、油菜の一番中耕をなす。泊

夫藍に施肥して寒よけをなす。洋苺、石刁柏に堆肥を施す。蘭

田を整地す。果樹園、茶、桑畑を中耕す。果樹を剪定す。根刈桑を

結束す。園樹に雪支へを設く。空畑を耨く。温床を作り、又よく

管理すべし。

收穫 葱、胡蘿蔔、牛蒡、甘藍、晚生大根、漬物用大根、晚生の燕

菁、漬菜類、高菜、慈姑等を採收す。薪炭材を伐り始む。

雑事 稲の調製及び俵装をなす。漬物用大根、切干大根を

乾燥す。帳簿を整理すべし。穀物庫をよく乾燥掃除すべし。

下種	移植	手入	收穫	雑事
<p>○中旬            温床内に茄子・蕃茄・胡瓜などを蒔く。</p>	<p>           蘭・高苜蓿・洋苜蓿等を植う。</p>	<p>           手入            裸麥・大麥・小麥・油菜の一番中耕及び追肥をなす。蘭田を整地施肥す。空畑を耨く。温床の管理は周到なるべし。石刁柏・款冬・洋苜蓿に堆積肥料を施す。</p>	<p>           收穫            甘藍・葱・胡蘿蔔・牛蒡・京菜・慈姑・蓮根・高菜・薪炭材等を收む。</p>	<p>           雑事            稻を調製俵装すべし。漬物・大根・切干・大根を乾燥す。米庫をよく乾燥掃除し置くべし。家長は帳簿を整理すべし。蕪菁・大根等を土中に貯蔵す。</p>

移植	手入	收穫	雑事
<p>           移植            採種用の大根・漬菜・蕪菁・甘藍等に寒防をなして移植すべし。</p>	<p>           手入            油菜・麥類・蠶豆・豌豆等を中耕して施肥す。麥類を鎮壓す。園樹に雪支へをなす。空地を耨く。温床を作りてよく管理すべし。</p>	<p>           收穫            葱・牛蒡・胡蘿蔔・京菜・晚生大根・慈姑・蓮根等を收む。三極を刈る。薪炭・樹材・用樹を伐採す。</p>	<p>           雑事            漬物・大根の乾燥並びに漬込み。稻の糶摺り及び俵装・帳簿の整理。家屋・庭園・圃等をよく片づけて芽出度く新年を迎ふる準備をすべし。</p>

○神奈川県にては九月中旬頃に立入れを行ひたる海苔を採收す。

關東地方之部終

第六

北陸地方

○氣候概要

北陸の氣候

本地方は年平均氣温に於ては關東地方と甲乙なしと雖も降水殊に冬季の降雪甚だ多きことは延て冬季春季に於ける諸般の氣候状態に大差を生ずるものとす即ち年平均氣温は十二度半乃至十四度なるも春季の平均氣温は九度半乃至十一度に過ぎず但し八月の平均氣温は二十五度を越へ且つ時としてはフエーン風の影響によりて日本本土中他に見ざる所の著るしき高温を致すことあり冬季の降雪

は一二月に於て最も多く海岸に於ても尙三四尺に達し山麓に至れば一丈を越ゆるの地少なからず此故によく關東地方に産する二三の半熱帯植物も本地方にては栽培する能はず空氣の湿度は年内常に高く殊に著しく冬季に高し域内諸地の平均氣温及び霜雪の期節は次表の如し。

平均氣温

平均氣温

新 潟	一四	一三	四、四	一〇、三	一四、九	二二、五	二二、六	一五、三	九、四	四、二	二、六		
伏 木	二、三	二、〇	五、五	一〇、七	一五、二	二二、〇	二二、九	一五、八	一〇、一	四、九	二、二		
皆 月	三、四	二、三	五、四	一〇、四	一四、一	二二、五	二二、五	一六、〇	一〇、二	五、六	二、七		
金 澤	二、四	二、一	五、三	一〇、〇	一五、五	二二、四	二二、六	一五、四	九、七	五、〇	二、一		
福 井	二、七	二、五	六、一	一一、五	一六、四	二〇、四	二四、二	一五、〇	九、六	五、一	三、四		
	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	年平均

霜雪の期節

霜雪の期節

新 潟	十一月八日	十二月二日	十一月八日	十二月二日	十一月八日	十二月二日	十一月八日	十二月二日	十一月八日	十二月二日	十一月八日	十二月二日
伏 木	十一月八日	十二月二日	十一月八日	十二月二日	十一月八日	十二月二日	十一月八日	十二月二日	十一月八日	十二月二日	十一月八日	十二月二日
皆 月	十一月八日	十二月二日	十一月八日	十二月二日	十一月八日	十二月二日	十一月八日	十二月二日	十一月八日	十二月二日	十一月八日	十二月二日
金 澤	十一月八日	十二月二日	十一月八日	十二月二日	十一月八日	十二月二日	十一月八日	十二月二日	十一月八日	十二月二日	十一月八日	十二月二日
福 井	十一月八日	十二月二日	十一月八日	十二月二日	十一月八日	十二月二日	十一月八日	十二月二日	十一月八日	十二月二日	十一月八日	十二月二日
	平均	最早	平均	最晚	平均	最早	平均	最晚	平均	最早	平均	最晚
	霜	雪	霜	雪	霜	雪	霜	雪	霜	雪	霜	雪

○北陸地方年中行事

一月

本月は福井縣の一部を除くの外は概ね積雪に覆はるゝが故に、二三の屋外作業は之を營むべきも大抵東北地方と等しく主ら屋内作業を營まざるべからず。即ち稻粃を調製し、種々の農産物に加工し、收支を計算し、家政を整へ、農談會を開き子弟には補習教育を受けしむる等を其最も重要な行事とす。

手入 積雪少なき地方にては果樹園の中耕施肥を行ふ。但し餘り遅きはよろしからず。

收穫 山林樹木を伐採し、炭を焼く。山野に鳥獸を狩る。

行事の大要

手入

收穫

製造

雑事

行事の大要

二月

製造 疊表、大麻、苧麻等を精製す。筵、細草、鞋、蓆等の藁細工品並に澱粉を作る。堆積肥料を製造す。  
雑事 農具及び馬具を製造し、修繕す。家畜、家禽に防寒の手當をなし、又適當に運動せしむ。豚、羊等を交尾せしむ。日々屋根及び道路の雪除に従ふ。

本月は殆ど毎日に雪ふりて天候常に定まらず、寒氣亦最も強ければ前月に續き、屋内にありて農産物の加工種々の藁細工等に勉め、又家畜、家禽の保護に意を用ふべし。屋上、道路、庭木等の雪よけは日々の常務なり。

收穫

收穫 山林樹木を伐採す。山野に鳥獸を狩る。されど雪深

製造

製造 地方にては山に入るには相當の準備を必要とす。蕤簇繩草鞋馬沓等の蕤細工品及び疊表を作る。大

雑事

雑事 麻苧麻を精製す。柳行李を作るもよし。農具馬具を製造修繕すべし。蠶種及作物の種子を

準備し又運搬す。よく家畜家禽を保護す。蜜蜂には貯蜜の多

少を見計ひ食物を與ふべし、下旬に入らば温床の構成に着手すべし。

三月

行事の大

本月に入れば温度漸く高まり下旬に至れば大半の地は

積雪融解するを以て速かに土地を起し、苗床を作り、春蒔の麥綠肥等を下種すべし。家畜は勞役を増すと同時に濃厚飼料を合せ與へ又手入をよくすべし。春期の仕事始めは最も重要なることなれば手後れなき様に勉むべし。

○上旬

接木 梅の殺接を行ふ。

手入 雪どけを待ちて春蒔燕麥及び綠肥田を整地す。又

春植藺田を耕耨して施肥す。田畑に厩肥を施す。

收穫 山林樹木を伐り、木炭を焼きて雪上を運び出すを

便とす。鳥獸を狩る。

製造 種々の蕤細工をなす。地方によりてそれと疊表

柳行李大麻苧麻等を製造すべし。堆積肥料を作る。

接木 手入 收穫 製造

雑事 温床及び苗代を作る。農具馬具を速かに修復すべし。鶏家鴨等の卵を孵化せしむ。

○中旬

下種 温床に茄子瓜類を蒔き始む。暖き地方にては雪融して土地の乾燥するを待ち豌豆蠶豆等の綠肥用作物を蒔く。

移植 蘭の春植を行ふ。

接木 梅の殺接を行ふ。

手入 雪とけて畑地の適當に乾燥するを待ち油菜麥類の二番中耕及び施肥をなす。綠肥の作地を整地す。空田畑に厩肥を施す。

收穫 山林の樹木を伐り炭を焼く。鳥獸を狩る。

雑事 下種 移植 接木 手入 收穫

製造

雑事

下種

移植

製造 種々の蠶細工を行ふ。地方によりて夫々特異の農産製造を行ふ。

雑事 苗地を作る。雪どけ後は不潔なるものなればよく後庭道路等を掃除し乾燥を圖るべし。家禽を孵化せしむ。庭木の雪支へを除く。

○下旬

下種 融雪後適當に乾燥するに従ひて燕麥洋種莢豌豆並に蠶豆豌豆等の綠肥用荳草を蒔く。蓼藍煙草は寒よけをなしたる苗床に下種す。胡瓜茄子を普通の温床に蒔き始む。茶桑楮三極も苗床に蒔く。(茶は直蒔にすることあり) 移植 蘭の春植を行ふ。畑蒔きの苜蓿紫雲英等を定植す。桑落葉果樹等を定植す。



接木	手入	雑事	要行事の大
接木 梨・桃・櫻・苹果等の殺接を行ふ。	手入 苗代・苗床を整地す。油菜・麥類・蠶豆及び秋植・蘭田の	雑事 雪どけ後は道路・庭園等の乾燥を計り掃除と修繕 とに従ふべし。家禽を孵化せしむ。庭木の雪支へを除く。	本地方も本月に入れば氣温著しく上り融雪後の田畑も 乾燥するを以て速かに之を整地して播種栽植を行ふべ し。又苗代・苗床をよく管理し、麥・油菜をよく肥培すべし。播 種栽植の期に後れざるは最も必要なることなり。

四月

下種	移植	接木	手入	收穫
下種 燕麥・綠肥用大豆・大麻を蒔く。煙草(福井)・麥・藍・荳蔻・ 胡瓜・南瓜・蕃茄・桑・茶・三極楮等を床蒔す。甘藷・馬鈴薯・菊芋・蒟蒻・ 甘露子等を下種す。	移植 除蟲菊・苜蓿・紫雲英を植う。柑橘類及び山林樹木を 植う。	接木 梨・苹果・櫻・桃等の殺接を行ふ。梨・苹果・桃・薔薇等を挿 木す。	手入 大麥・小麥・裸麥並に油菜の中耕を行ふ。春植・蘭に追 肥す。蠶豆及び豌豆の施肥中耕を行ふ。水田並に苗代の耕耨 を行ふ。果樹・茶・桑・三極楮等に芽出肥を與ふ。	收穫 山林樹木の伐採を終る。杞柳の春刈を行ふ。二年子

○上旬

大根を收む。

雑事 蠶種を貯藏場より取り出す。灌溉排水の水路を浚へてよく修繕すべし。刈取たる杞柳の皮を剥ぎて漂白す。家禽を孵化せしめ、雛を育つ。

○中旬

下種 燕麥・大麻・亞麻・牛蒡・葱等を蒔く。蓼・藍・煙草・普通甘藍・花椰菜・除蟲菊等を床蒔す。馬鈴薯・大黃・菊芋・甘露子等を植う。茄子・胡瓜・蕃茄・南瓜・絲瓜・越瓜等は床蒔きにする。こともあるも多くは此頃寒よけをなして直蒔す。(直蒔の方成蹟宜しと云ふ。)

移植 柑橘類及び杉・松・落葉松・檫・漆樹・樟等を移植す。秋蒔の甘藍・花椰菜・高苜等を假植す。

手入

手入 麥類・油菜の三番中耕を行ひ、少しく培土す。蠶豆・豌豆・除蟲菊等の施肥中耕を行ふ。蘭・果樹・茶・桑等に施肥す。水田苗代地並に他の穀菽地を整地す。樹苗の床替をなす。

收穫

收穫 二年子大根を收む。杞柳の春刈を行ふ。

雑事

雑事 種粃の比重選を行ひ、後三四日間浸水す。冬の間放置したる灌溉排水の水路を浚へ、よく修繕すべし。早き地方にては春蠶の催青に着手す。蠶室・蠶具は其前によく掃除し消毒すべし。家禽を孵化育雛するによし。

○下旬

下種 稻粃を苗代に蒔く。陸稻・玉蜀黍・落花生菜・菜豆・牛蒡・馬鈴薯等を下種す。大麻・亞麻は早き方よし。煙草・除蟲菊・薔薇・甘藍・花椰菜・葱・玉葱・高苜・漆種々の草花類は皆苗床に蒔く。茄子

下種

蕃茄・胡瓜・南瓜・西瓜・絲瓜・甜瓜・越瓜・扁蒲等は床蒔とするよりも寒よけして直蒔するを普通とす。此頃より順次に廿日大根をかひじき等を蒔く。

移植

柑橘等の果樹林木を定植す。高苜蓿並に赤松・落葉松・赤楊

手入

麥類・油菜等の三番中耕を行ひて後土寄をなす。蓼

藍・煙草・直播瓜類を間引く。春植藺には一二週間を隔て、數

回施肥すべし。除蟲菊・洋苒等に中耕施肥し、除蟲菊には培土

す。樹苗の床替を行ふ。

雑事

春蠶の催青を行ふ。早き所にては此末日頃より掃

立を始む。速かに水路を修復すべし。雞の雛を育つ。

四月十五日よりは法律の定めによりて種々の鳥類の捕獲

五月

を禁ぜられたり。但し此後も農作物の保護上必要ある場合には府縣知事に願出で、許可を受け捕獲すべし。  
○沿岸一帯に十一月に始めた昆布の採收を終る。

要行の大

本月は夏の穀菽を蒔き、苗地を管理し、春蠶を掃立、飼育する等を其主なる作業とす。果樹菜園の手入も亦時期を誤らざること肝要なり。

○上旬

下種

陸稻・早生粟・薏苡・稗・玉蜀黍・落花生・菜豆・南瓜・越瓜・冬瓜・塘蒿等を下種す。煙草・高苜蓿・苜蓿種々の草花類を床蒔にす。

移植	移植	手入	收穫	除病蟲害防
<p>移植 胡瓜、南瓜等を麥の作間に植う。尚ほ松、杉、扁栢、赤楊等を山に植出してよし。</p>	<p>手入 麥類に土寄す。春蒔、燕麥を中耕す。蓼、藍、瓜類、甘藍、花椰菜、花草類等を間引きて後に施肥す。大麻を間引きて除草中耕施肥す。豌豆に支柱を立て百合と共に施肥中耕す。藺に施肥す。苗代の灌水其他に注意すべし。水田の耕耨施肥をなす。樹苗の床がへを終る。</p>	<p>收穫 紫雲英を刈る。桑葉を摘む。</p>	<p>除病蟲害防 麥の黒穂をぬく。梨、桃、苹果、葡萄等は何れも開花中を避けて其前後にボルドー合劑を散布す。茄子、胡瓜等の根元に木灰又は硫酸華を散布する時は立枯病に特效あり。此頃間々桑茶等の凍害にかゝることあれば天候に注意すべし。</p>	<p>雑事 意し、豫防の準備をなし置くべし。</p>

雑事	下種	移植	手入
<p>意し、豫防の準備をなし置くべし。</p>	<p>下種 陸稻、稗、黍、粟、大豆、小豆、豇豆、菜豆、落花生、二十日大根、夏菜等を蒔く。</p>	<p>移植 床蒔にしたる茄子、胡瓜、南瓜、越瓜、西瓜等を定植す。</p>	<p>手入 大麻、玉蜀黍、牛蒡の間引並に中耕施肥を行ふ。藺、胡瓜、茄子、南瓜、西瓜等に施肥す。瓜類は四五葉を出したる時に摘心し、爾後も適宜摘芽すべし。菜豆の中耕施肥をなす。玉蜀黍</p>

○中旬

收穫	病蟲害防	雜事	下種	移植
黍百合高苜等に除草施肥す。豌豆に除草を行ふ。水田に緑肥堆肥等をすきこみてよく整地すべし。苗代の管理は丁寧なるべし。瓜類其他の寒防を除く。洋苺に藁を敷く。	病蟲害防除速かに麥類の黒穂を抜き去るべし。果樹にボルドー合劑を灌ぐ。	雜事春蠶を飼育す。茶の製造を始む。	下種夏蕎麥粟黍大豆小豆落花生豇豆等を蒔く。	移植蔘藍甘藍を定植す。床蒔きにしたる茄子蕃茄西瓜扁蒲等を定植す。

○下旬

手入	收穫	病蟲害防
手入陸稻玉蜀黍蔘藍百合の施肥中耕を行ふ。春蒔燕麥の除草培土をなす。馬鈴薯を中耕す。秋植藺に最終の施肥をなす。梨桃苹果の實の一番間引をなし、後袋掛を行ふ。水田を整地して施肥す。苗床を管理す。草花類の苗床は間引灌水等細心の注意を要す。瓜類其他の寒防を除く。洋苺に藁を敷く。	收穫二毛作田の早生大麥裸麥油菜を刈る。緑肥用の蠶豆大豆苜蓿等を刈る。除蟲菊の花を摘む。花はよく乾燥すべし。茨豌豆桑葉茶の新芽等を摘採す。洋苺及び櫻桃始めて成熟す。	病蟲害防除苗代の害蟲を驅除す。螟蟲の母蛾は此頃より毎夜燈火に誘殺し、又卵塊を取る。浮塵子其他は大抵は捕蟲網にて掬取るべし。

雑事

雑事——春蠶を飼育す。茶を製造す。蜜蜂の分封熱盛なる頃なれば常に注意すべし。種々の家畜を此頃分娩する様になりし置けば生育佳良なり。

○沿岸一帯に本月より十月頃迄石花菜を取る。

六月

行事の大

本月は麥を收め、稻を植え、夏の穀菽と瓜類とを中耕肥培するを主なる作業とす。場合によりて春蠶の上簇或は果樹の摘果、袋かけ等に多忙なることあり。

○上旬

下種

下種——粟、蜀黍、黍、夏蕎麥、草棉、胡麻、大豆、未本科の牧草等を

移植

蒔く。移植——早生稻を植え始む。甘藍、花椰菜、茄子、蕃茄、苦瓜、絲瓜等を定植す。

手入

手入——水田に灌水し、代掻を行ひ、又稻苗を取る。粟、牛蒡、玉葱の間引、中耕をなす。稗、蓼、藍、大豆、小豆、菜豆、豇豆、甘露子、馬鈴薯等に除草、中耕を行ふ。春植、蘭、蓼、藍、牛蒡、茄子等に施肥す。胡瓜に支柱を立て、瓜類は摘宜に摘芽すべし。梨、桃の第一摘果をなし、桃には直ちに袋掛けを行ふ。花園を整ふ。桑畑に刈込及び中耕を行ふ。

收穫

收穫——早生の裸麥、大麥、油菜並びに蠶豆、豌豆、桑茶の新芽等を收む。除蟲菊の花を摘む。此頃より播種の早晩に従ひ順次に二十日大根をかひじき等を採收す。洋莓、櫻桃、梅等を採

病蟲害防

る。此頃より漆液をかき始む。

病蟲害防除——此頃被害の苹果、梨、桃等の落果するものあ

れば、集めて焼き又は深く土中に埋没すへし

雑事

雑事——蜜蜂の分封熱盛なる頃なれば常に注意を怠るべ

からず、茶を製造す。春蠶上簇を始む。種々の家畜は此頃に分

娩する様になし置かば生育佳良なり。

○中旬

下種——黍、蜀黍、胡麻等を蒔く。

下種

移植——稻を植うるは二十日前後を最も普通とす。煙草、蓼

移植

藍、茄子、葱、蕃茄等を定植す。甘藷の蔓を挿す。草花類を植う。

手入

手入——水田の代掻をなし又施肥す。玉蜀黍、馬鈴薯、牛蒡

等を除草中耕す。粟は中耕と共に適宜に間引くべし。蓼、藍、甘

收穫

刈込中耕を行ふ。

收穫——大麥、裸麥、油菜の普通の刈取期なり。除蟲菊の花を

摘む。高苜蓿二十日大根、桑葉、洋莓、櫻桃、梅、茶の新芽等を採

收す。早作りの胡瓜を取る。漆液をかき始む。繭を收む。

除蟲害防

病蟲害防除——挿秧前に苗代の害蟲をよく驅除すへし。落

下せる果物は病蟲害に罹りたるもの多ければ速かに集め

て焼き棄つべし。油菜の菌核病多き地方にては莖株を焼棄

するをよしとす。

雑事——麥油菜を乾燥す。春蠶を上簇せしめ、早きは繭を搔く。番茶を製る。

○下旬

下種——尙ほ粟胡麻を蒔くべきも、成るべく早きをよしとす。

移植——水稻を移植するも、なるべく早き方良し。煙草(新濁)及び菜を定植す。草花類を花園に植え出すべし。

手入——水稻の一番除草を行ふ。此地方にては大抵挿秧二週間に第一除草を行ひ、其後七日乃至十日毎に都合四五回之を行ふを普通とす。陸稻大小豆、豇豆、稗、黍、甘藍、花椰菜等の第一中耕並に施肥をなす。粟は間引て施肥中耕す。麥、藍の二番中耕を行ひて施肥す。玉蜀黍は除草して後少しく土

收穫

除病害防

雑事

寄すべし。茄子、蕃茄、苦瓜等に支柱を立て除草施肥す。瓜類に藁を敷く。落花生菜、菜豆、玉葱、花園等の除草をなす。此頃柿の摘果をなすことあり。

收穫——小麦、晚種大麦、晚生油菜、蠶豆等を刈る。高苳、洋苳、早作りの胡瓜、茄子、梅、枇杷、杏等を順次採收す。漆液をかき取る。繭を収む。

病蟲害防除——常に稲の害蟲に注意し、枯葉と卵塊とを取り去るべし。落果は焼くか又は水に流し去るべし。油菜の茵核病多き地方にては莖株を焼き棄つべし。

雑事——麥油菜を乾燥調製す。地方によりては麥架を設けて乾燥する方利益なり。



七月

行事の大

本月は夏作物の主なる成育期なれば、専ら田畑の除草中耕に勉むべし。除草に手後れするは農家の耻と心得べし。其他麥・油菜を調製し、よく瓜類を肥培すべし。

○上旬

下種 胡蘿蔔を蒔く。

移植 葱を植う。種々の草花類を花園に植え出す。

手入 水稻の除草及び蟹爪直しを行ふ。大豆・玉蜀黍を

中耕して少しく培土す。桑茶落花生を中耕施肥す。蕎麥に土

寄をなす。玉葱百合の除草施肥を行ふ。根を需むる爲めの百

合は此際摘心すべし。瓜類に藁を敷く。常に水田に灌水す。花

收穫

除病蟲害防

雜事

下種

移植

手入

園の除草摘芽等に注意すべし。

收穫 小麦・外國種大麥・燕麥・蠶豆等を刈る。早生の馬鈴薯・

莢菜・豆・高苣・菲・洋苜等を採收す。胡瓜・茄子を取り始む。李・杏・早

生の苹果等を取る。漆液をかか。

病蟲害防除 水田には浮塵子・螟蟲・葉捲蟲等發生し、畑に

は夜盜蟲發生して大害を致すことあれば、除草中耕の際に

注意し、十分に驅除を行ふべし。

雜事 麥・油菜・蠶豆を乾燥調製す。蠶種を製造す。

○中旬

下種 胡蘿蔔を蒔く。

移植 春蒔の除蟲菊・葱・菊・苗等を移植す。

手入 水稻の二番除草を行ふ。晚蒔きの粟・黍等を間引く。

收穫

陸稻粟黍大小豆等の除草中耕をなし、少しく培土す。蕎麥に土寄を行ふ。絲瓜の棚を作る。落花生を除草中耕す。玉葱の根元の土を搔き拂ふ。牛蒡菜豆豇豆の除草を行ふ。茄子甘藍に摘芽等に注意すべし。百合の除草摘心をなす。花園の灌水除草

除蟲害防

病蟲害防除 常に水田の害蟲防除に注意すべし。畑の夜盗蟲は發生の大ならざるに先ちて驅除すべし。煙草の青蟲瓜蠅等は早朝に捕殺すべし。

雑事

麥蠶豆を乾燥調製す。蠶種の製造を終る。蠶室蠶具

收穫

を洗ひ。又日光にさらしてよく乾燥せしむ。

○下旬

移植 藺刈の後に寄せ植をなし置きたる稻を植う。これは一日も早き方良し。

手入

手入 稻の三番除草を行ふ。晩蒔の黍粟等の間引中耕を行ふ。玉葱の根元の土を搔き除く。葱落花生菜豆豇豆牛蒡桑茶果樹園等の除草を行ふ。瓜類の花及び幼果を摘宜に間引くべし。此頃より水田に灌水するの外、陸稻煙草瓜類甘藷蓼藍等にも乾燥の度によりて、摘宜に灌水すべし。

收穫

收穫 春蒔燕麥及び藺を刈る。蓼藍及び薄荷の一番刈を行ふ。早生の馬鈴薯茄子胡瓜蕃茄越瓜菜豆夏菜紫蘇夏葱等を順次に採收す。洋李中生苹果早生桃無花果等を取る。漆液

病蟲害防

を搔く、野草を刈取る。  
病蟲害防——稻の害蟲に注意すべし。茄子、瓜類の立枯を  
なしたるものは速かに抜き去りて跡地に硫黄華を撒くべ  
し。

雑事

雑事——麥を調製俵装す。菌を泥染して乾燥す。蓼、藍、薄荷を  
乾燥すべし。蠶室蠶具を掃除して日光に曝すべし。  
○沿岸一帯に此月より十二月迄鰹を取る。

八月

要行事の大

本月に於ける主なる行事は、前月に續きての田畑の除草、  
灌水に勉むる事。瓜類及び果物を順次に接收すること。秋

下種

手入

收穫

蕎麥、大根、漬菜類を播種すること等なり。

○上旬

下種——秋蕎麥を蒔く。早生大根を蒔き始む。

手入——水稻の最終除草を行ふ。蓼、藍及び薄荷の刈取後は

速かに中耕除草施肥を行ふべし。桑、茶、果樹類を除草中耕す。

陸稻、大小豆を除草培土す。粟、黍、蜀黍等を除草す。煙草、瓜類の

芽を摘む。茄子を除草施肥す。水田並に煙草、陸稻、草棉其他の

畑作に随時灌水すべし。此頃より果樹の緑枝を剪定し、又枝

を曲く。油菜、漬菜、大根等の下種地を整ふ。藺刈後の水田を除

草整地すべし。

收穫——春蒔、燕麥、大麻、亞麻、藺、蓼、藍の刈取並に禾草、荳草の

一番刈を行ふ。甘藍、花椰菜、葱、玉蜀黍の嫩穂、茄子、蕃茄、蕃椒、胡

病蟲害防

瓜南瓜西瓜越瓜甜瓜扁蒲等を順次採收す。西洋李無花果早生の梨中生の苹果桃等を摘採す。漆液をかき取る。野草を刈取る。  
病蟲害防除——此頃より浮塵子の大發生をなすことあり。注意して驅除すべし。煙草の青蟲及び瓜蠅は早朝に捕殺すべし。

雑事

——菌の泥染をなし、よく乾燥すべし。燕麥を乾燥調製す。亞麻大麻を浸漬製造す。干瓢を製す。

○中旬

下種 手入

下種——秋蕎麥を蒔く。大根漬菜小蕪菁等を蒔くに良し。  
手入——稻田の稗切を行ふ。蓼藍及び薄荷の刈取後はよく除草して中耕施肥を行ふべし。稻の穂孕期なれば陸稻にも

收穫

十分に灌水するを良とす。油菜大根の下種地を整ふ。草棉煙草の摘心を行ふ。胡瓜の蔓を揚げて跡をよく整地すべし。果樹の緑枝剪定を行ひ、又枝を曲げ適宜除草すべし。

收穫

——夏蕎麥大麻馬鈴薯甘藍花椰菜甘露子等を收む。蓼藍牧草を刈る。玉蜀黍の嫩穂茄子蕃茄蕃椒西瓜南瓜甜瓜扁蒲等を順次採收す。胡瓜は大抵此頃にて收め終る。葡萄早生梨苹果桃等を取る。漆液をかき取る。野草を刈る。

雑事

——牧草菌蓼藍干瓢等を乾燥す。燕麥を調製す。大麻亞麻を水に浸して製造す。薄荷の取卸を始む。牛を交尾せしむ。

○下旬

下種

下種——苜蓿を畑に蒔く。細根大根二年子大根蕪菁漬菜等を蒔く。